

特 248

967

輯五十五第料資化教

て就に活生民國の佛獨近最

長々館物博京東前

述講郎太源橋棚

會合聯體團化教



始

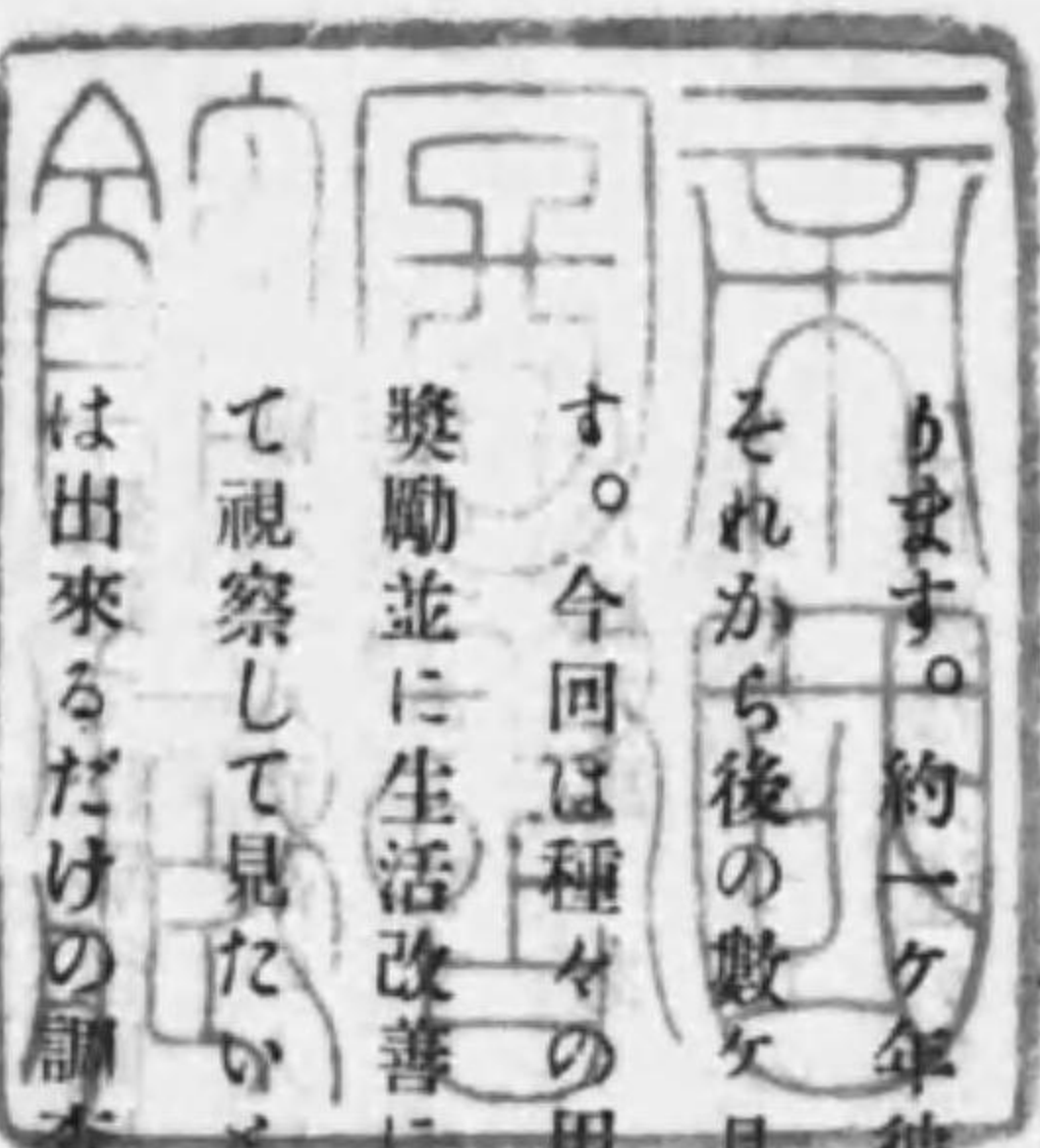


特248
967

本編は大正十五年九月内務省社會局に開催の本會定例協議員會席上
に於ける前東京博物館々長棚橋源太郎氏の講演の速記を印刷に附した
るものである

最近獨佛の國民生活に就て

前東京博物館々長 棚橋源太郎 講述



私は昨年の初めに歐羅巴へ参りまして、本年の一月の末に日本へ戻つて來たのであ
ります。約一ヶ年彼地に居つたことになりましたが、其間巴里で六、七ヶ月過しました。
それから後の數ヶ月で歐羅巴各國を旅行し、亞米利加を視察して歸つたのであります。
す。今回は種々の用事を持つて参つたのであります。内務省社會局からは特に勤儉
獎勵並に生活改善に關する調査を命ぜられて居つたのであります。この問題は私の豫
て視察して見たいと思つて居た事でありまして、短日月ではありましたが私として
は出来るだけの調査を遂げて歸つた積りであります。

今回歐米に亙つて諸國を歩き廻つた中にも、獨逸は以前留學した豫て親しみのある
國であり、また佛蘭西は今度可なり長く居りました關係から、本日は講演の範圍を此
兩國に限り、佛蘭西と獨逸とに於ける最近の國民生活に就てと申しまするやうな題目

の下に、見聞した一端を御話致して見たいと思ふのであります。

此度獨逸に參つて見ますと、種々な問題が起つて居たのであります。

▲國民の保健問題

獨逸では戦後國民の健康と云ふことが餘程重大な問題になつて居ります。獨逸は戦前六千八百萬の人口があつたのでありますけれども、戦争で兎に角六百萬も人が減つたのであります。ベルサイユ平和條約の結果諸方で領土を割かれたので、人口の減少した様な事もあり、又出産の少かつた事も大に與つて居りますが、戦死者の數も亦仲々少くなかつたのであります。そして而かもそれが國の中堅になつて働いて居た立派な重要な人達が無くなつたのであります。戦争で不具になつた人達は勿論この以外であります。そして其上に戦争中英吉利の海上封鎖食糧攻めに逢つた結果、國民の健康を甚しく害した。殊に其間に産れた子供の體格が非常に良くないのであります。

今回私は伯林滞在中一日前から心安い某小學校長と伯林市の北の端のウエツデイングを彼方此方と歩いて居りますと、偶々私の眼に附いたのは兒童の體格でありま

す。十人位遊んで居る中には三四人は必ず身體が變な恰好に曲つて居るのであります。兩脚が曲つて括弧脚に成つたり、僂僂に成つたりしたものも随分居る。それに顔色も蒼白く健康状態が甚だ悪い。それで之れを校長に話して見ると實にその通りだ、統計の上でも非常に悪く成つて居るのである。從來醫師の方で英吉利病と云ふ病氣がある。是は榮養不良で、骨が曲り僂僂に成る病氣であります。校長の申さるゝには大戦後獨逸では、何でも斯んな風に食糧不足榮養不良の結果、病氣になつたり體格の變に成つたのを總てエングリツシエクランクハイト（英國病）と言つて居るのである。英國病の意義が戦争後は變つて頗る廣くなつて來たのである。斯んな風に英國を非常に怨んで居ります。其の校長の小學校では九百人の生徒が今日では六百名に減じた。それも皆戦争の影響である。併し來年頃からは漸次舊に復する筈である。それに見童が虚弱であり且つ貧しい爲めに、毎日市から牛乳の無料給與を受けて居るのが五十名もあると云ふ事である。斯う云ふやうな次第で、第二の國民たるべき兒童の體格が善くないから、將來の國防力の上に缺陷を來たし、且つ同時に國民の生産能力に至大の

影響を及しますので、文部省でも早速此點に着目し、小學校の體操科なども既に一九二〇年其の規則を變へて、教授の時間を増し、第二時と第三時との間の二十五分の休みには全校生徒の共同運動を課するなど、馬力を掛けてやつて居ます。それに毎月一回づゝは必ず生徒の郊外遠足を勵行するとか、毎日午後一時からの放課後は、生徒も教師も必ず學校に居残つて夕景まで遊戯をやらせるとか云ふ様に、兒童の健康増進と體格の改善とに全力を用ひて居ります。學校ばかりでなく既に小學校を卒業して實務に従事して居る青年處女の體育獎勵も盛にやつて居り、全國民の健康恢復、體力増進と云ふことには随分力を入れて居るやうに見受けました。

▲住宅補充問題

それから次には住宅問題であります。住宅不足は獨り獨逸に限らず交戰國皆一樣であります。戰爭中一切普請を禁じて居つた爲め、住宅の数が全然増さなかつた處へ戰地から一時に歸つて來たのである。そして盛に結婚を實行した。從來一年五十萬組位のもものが、俄に八十萬組以上の結婚數に達し、其の趨勢が二年も三年も續いたの

である。それに戰爭中軍需品を製造する工業が發達した爲めに、地方の農夫が餘程澤山都會の附近に集つて來て居たのであります。此等の事情から都會に於ける住宅の不足と云ふものは非常なもので、伯林だけでも一九二一年には、二十萬家族分の住宅不足を告げて來たのであります。伯林ばかりでない何の都會も皆同様で、労働者は工場から二里三里の遠方から通勤するのが殆ど普通で、中には七、八里の處から通ふのも珍らしくありません。故に戰後住宅の補充と云ふことは大問題で非常に力を入れて居る。種々な低利資金を設けて専ら小住宅の建築補充に力めて居るのである。獨逸では斯う云ふ資金を借り受けて、市町村其他の團體では盛に小住宅を建築して、廢兵や貧困者をして特別安い家賃で住むことの出来る様に力めて居ります。

伯林市のウエツク区でも郊外の市街續きの處に小住宅區を構へて、其處に五十軒ばかりの安住宅を建築してあるのを今回視て參りました。この邊は戰爭前私が留學して居た頃は、伯林市有のグルーネブルトと云ふ大森林公園の接續地で、ユングフェルトと稱へて美しい赤松の林が繁つて居りました。日曜などには非常に澤山の人達

が散歩に出掛けた處であります。然るに今回參つて見ますと、一株の樹木もなく、荒れ果てた廣い砂漠になつて居るのであります。さうして諸處に點々と大きな大砲の彈丸でも落ちた様な形の窪が出来て居るのです。是はどうしたのだと訊ねて見ますと、あの大戰終末頃革命の際に、市民が無暗と樹木を伐つて持つて歸つてストーヴに焚いて仕舞つたのださうです。終にはそれで足りないで、更に樹の根迄掘り取つて了つたのださうです。今日點々と窪になつて残つて居るのは即ち其の跡ださうです。プロシヤは一帶に砂地で地表幾尺かは一帶に砂で覆はれて居ります。その砂地で樹木を伐つて仕舞つたから、丁度砂漠のやうに荒れ果てたのであります。其ユングフェルトの砂漠の一端町へ續いた一區劃に、五十軒ばかりの小住宅區を區で設けたのであります。其の一軒の屋敷の廣さは六十坪で建物は、十疊八疊位の二間に臺所と小さい家畜の置場と土間とから成る平屋建で可なり住まれます。それを區内の廢兵に限つて貸す事にしてある。家賃は月額十三マルク半で給水が無料になつて居ます。即ち我が國の金で八圓ばかりに當ります。小學校長に伴はれて其中の或る一軒へ入つて見ると、負

傷兵らしい頑丈な勞働者風の男が質朴な態度で應對して呉れました。頗る満足して暮して居る様に見えました。

獨逸では獨り廢兵ばかりでなく、戦争の結果今度他國の領土になつた地方から遁げ歸る避難民の數が頗る多數に達した。波蘭が獨立をし、それから丁抹へも土地を割いて還へし、アルザスロートリンゲンは佛國に取り返へされたのであります。さう云ふ邊では少數民族として可なり虐待されるのですから、農民の如きは地所も家屋も山林も、二束三文に安く賣拂つて仕舞つて、ごん／＼本國へ流れ込んで來るのであります。唯さへ住宅不足の處でありますから、それ等の避難民を收容する場所がなくなつてかく／＼困つて居るのであります。それで政府では民間と協力して一つの内國殖民の株式會社を拵へたのであります。そして政府は其會社の株を半分だけ持つて、田舎の大きな地主の領地を買取つて、それを擔保にして住宅建築資金を借出し、其所へ盛に家を造つて居ります。それ故避難民は僅か金を出すと云ふと、其の家に住まはれ、地面を與へられて、開墾なり農業なりに従事出來、若干年の後には自分の家自分の地所に

なるやうに出来て居るのであります。斯くして食糧問題を幾分でも解決すると同時に住宅不足を補ふ施設の一つになつて居るのであります。

▲物價引下げ問題

それに私が着いた頃は物價引下げ問題の頗る喧しい時でありました。獨逸では茲三四年來段々物價が騰貴するばかりで、政府でも非常に弱つて之れを引下げること全力を擧げてやつて居りました。ベルサイユ條約の結果、戦争後各地に小さな國が獨立して國の數が殖えて來た。そして其等の國々では自國の産業を保護する意味からして、輸入品に對して何れも重い關稅を課する様になつたものであります。それ故獨逸の様な食糧不足原料不足の爲め海外から其輸入を仰ぎ工業品を輸出せねばならぬ國では、非常に困難を感ずるのである。それに産業に使ふ資金の金利はと云ふと、國立銀行でさへ一割四分と云ふ高利で貸出して居ります。そして大戦後は非常なる重税を課されて居て何の産業も自然生産費が嵩み、勢ひ物價の騰貴を免れないのであります。それに今一つ獨逸では、生産費を多からしめる事情があります。それは即ち社會的負擔と稱して居るものであります。彼國では使用人労働者の保護救済、失業手當、疾病保險、傷害保險、養老年金の爲めの積立等大部分資本家の負擔に屬するものが甚だ少くないのであります。獨逸では労働者の失業手當として一週間に一人六馬克づゝ呉れて居るのであります。失業者がなかく多くて、従つて工場主の負擔も非常に重いのであります。殊に婦人や兒童の労働者保護問題が喧しいのでありますから、婦人がお産をした前後はごうしても、相當の期間使ふ事が出來ず、年少の労働者にも種々の制限があるので、勢ひ高い成人の男子労働者を使用しなければならず、自然労働賃銀が高くなるのであります。總て此等の事情の爲め生産費が増し、物價を高くするのであります。

それですから政府では米國のトラストに相當する企業聯合を取締るとか、或は運賃の値下や、金利の引下げをやるとか、或は警視廳に物價検査所を置いて生活必需品の價格を吟味し、嚴しく之を監督するとかして居ても物價が上る一方でどうしても下らぬので、此物價引下問題には獨逸は随分苦勞して居ります。併しながら少くとも日常

生活の必需品だけは妄りに騰貴させぬ様に喰ひ止めて居ます。石炭の如きもルール地方で盛に掘り出し、比較的廉い値で佛蘭西に賣渡す契約が先般成立つた上に、事實また石炭は國民日常生活の必需品でありますから、無論政府も干渉して騰貴させぬ様にして居るのであります。パンの如きも一斤に就いて僅か二、三ペンニツヒ値上げすると云つても大變な問題で、種々な機關の審議を経なければ何うすることも出来ないのであります。衣食住生活の必需品ばかりでなく、醫師の診察料までも干渉してなかなか上げられない様に取締つて居ります。

▲獨逸の勤儉生活

それでも國民は収入に比べて生活費が餘計にかゝるので非常に困つて居ります。私は舊知の學校長などに逢つたり、彼方此方の知つた人を訪ねたりする場合には、常に家計の模様を訊ね、格別親しい人達からは家計簿を見せて貰つたりしたのであります。が、仲々苦しい生活をして居た。大戰前までは、獨逸の小學校長などは毎月月給を殘して盛に有價證券を買込んだりして、相當豊かに暮して居たものであります。が、それ

が大戰後の紙幣濫發、經濟界の大變動で紙屑同様になり、氣の毒な事には、大概の俸給生活者は全く無資産者になつて仕舞つたのであります。尤も以前よりは月給の額だけは少しばかり上つたのですけれども、物價の指數が戰前とは異つて參り、月給の上つた率よりも更に大きいのですから逆もやり切れぬ。伯林で訪ねた一小學校長の如きも夫婦に二十歳前後の教育盛りの一男二女の比較的大家族で月給だけではやり切れぬから毎週幾回か受験準備中の若い小學教員を集めて講習したり、警官達に矯正體操を教へたりして其の方の僅かの収入とで漸く毎月一ぱい一ぱいの暮しをして居られる。其校長の話に、一時は學校の退けた後で毎日午後一時から附近の銀行へ通つて働いて居た事もあつたさうです、特に私に見せて呉れた家計簿の上でも成る程と肯れたのであります。尙校長の話に獨身の若い先生達の方が家族の多い學校長などより却つて割合がよく氣樂な生活をして居るさうです。それからまた小さな商人、パン屋、靴屋と云ふやうな小製造人は概して暮しよく毎月幾らかづ、でも貯蓄して居るさうであります。之れに反して官吏や教員には、逆も貯蓄をする餘裕はないのであります。けれど

も二、三訪ねた小學校長の細君の中には紙幣濫發でこの通り貯蓄を悉く失つて了つたが、私達はもう一遍何とかして元の通りに資産を造つて見せる積りだと堅い決を心示して居りました。

以上申述べた様な次第で、政府に於ても大に努力はして居ても、何分にも國民の收入が少くて生活費の方が高いので致し方がない。隨てこの難局を切抜けるにはどうしても全國民が一致してお互に節約をするの外はないのであります、故に獨逸の人は以前から節約の國民ではありませんが、今日は一層之れを力行しなければならなく成つて居ります。それで今回伯林に滞在中四、五軒も教育家の家庭に招かれて食事をしたのであります。家族の晩飯の模様なども以前とは餘程様子が變つて居る。戦争前に較べて非常に簡單になつて來て居る。以前も勿論料理は肉か鳥か魚か何れか一品ではありますけれども、兎に角温いものを出して、それに葡萄酒位は飲ましたものでありましたが、今度其の同じ家庭に招かれて見ると全く以前の様ではなかつた。即ち日常の儘の冷たいものばかりでありました。主食品としては小さい細長いパンを縦に二つに

切つて、それへバターを塗り茹卵や、腸詰を薄く切つたものや罐詰の鰯を一尾づゝ載せたサンドウィッチの様なもの、皿に盛られてあり頗る簡單なものであります。そして酒は勿論何もなく、飲料としては淡い珈琲だけで後は果物と菓子、黒パンにバターを塗けたもの、それですべてである。別室で四分一リットル入りのビールの小罎を一本だけ出して呉れた家もありましたけれども、まあ酒のない方が普通でございました。之れに比べると日本の來客の饗應や宴會などは實に贅澤なものだと思ひました。

伯林滞在中一夕小學校長に伴はれて、伯林訓導協會の會館へ青年男女の舞蹈の演習を見に行つたのであります。會館の大廣間には數百千人の教育家や父兄達が集まつて來て、夫れハテーブルを前にし椅子に掛けて見物し、今夕は青年の會だからと云つて、一切アルコール抜きにして各自に持つて來た菓子包を出し、珈琲を注文してそれで済まして居りました。私共に對してもどうぞ今夜はこれで我慢して呉れとまをして居りました。以前伯林に留學の際私は教育家と屢々此會館で催された各種の會へ出席をしたのであります。すると黙つて居つても、給仕人が大きな半リットル入りのピ

ールのコップを運んで来て席の前へ置いてゆくのであります。それを飲みながら講話を聞き或は討論が行はれるのであります。其のビールの杯が飲み乾されて無くなると注文せずに黙つて居ても、再び新しいのを持つて来て取替へて行くのであります。其の都度鉛筆でコップ敷へ印を付けて行きます。嘗て私の隣に坐つて居つた肥満した一校長などは、それを十杯も飲んだらしく、散會の時に拂つて居たのを見た覺がありません。然るに今日はそんな馬鹿げたことは獨逸では殆ど見られなくなつたのであります。伯林の日本大使館の方が言つて居られましたが、近頃大使館の小使やタイピストは、黒パンにバターを塗つたので晝飯を済して居るさうです。私も市中で道を歩きながら黒パンを嚙つて居るのを屢見受けました。カフェーへ入つて見て居ると、紙袋に包んだ菓子を持つて来て開いて居る様な人達も稀でない。以前はそんなことは滅多に見られなかつたのでありますが、今日は實際其位にしなればやつて行けなくなつたのでありませう。

土曜日の或る夕景のことでありました。私は伯林で舊知の一小學校長を訪問して官

舎を辭して歸らうとする時でありました。官舎と申しましても校舎の二階の三室四室を之れに充てたものでありましたが、突然校長の言はれるには、今日は土曜だから私達はこれから買出しに往かうと思ふが、お前も一緒に往つて露天の公設市場の模様を見て歸らんかと云ふ事でした。早速お願ひをして一緒に參る事にして、校長の家族と一緒に學校を出ました。すると三四町位先きの十字街の廣場へ來た。こゝには毎週水士の兩日の午後特に公設市場が開かれるのであります。買出しの男女で雑踏を極めて居りました。校長は電車通りの三階の一室を指して、彼處へは物價検査所の警官が出張つて居て監督をして居るのだと私に説明しながら、奥さん二令嬢とともに群集の中へ分け入りました。そして盛に買物をし、校長は土の附いた馬鈴薯を大袋に一抔携げ、奥さんは鹽魚を一包と其他二三品買取りました。令嬢は十八、九歳と二十歳位の娘盛りであるのに、野菜の類を一抱持つて居た。家族の人達は私と其處で別れを告げました。生徒の父兄と一緒になつて、校長さんの家族が買出しをすると云ふ様な事は、日本では餘り見られない。寧ろ珍らしい事の様になりますが、彼地では一向平氣

であります。概して日本人の様に虚榮心が強くない様に見受けれます。日本では女中さんまでが買出しを嫌い、何も彼も風呂敷に包んで歸ります。

獨逸は斯んな様な状態に今日陥つて居るのであります。獨り家庭の生活ばかりでなく國家社會の全體がさうであります。故に諸官廳や學校へ往つて見てもすぐ判る。報告や一覽杯の印刷物を呉れと言つても、何處でも大概持つて居ない。以前は學校でも役所でも要求すれば必ず呉れたものであります。今回は到る處斷られた。一九一四年以來まだ一度も印刷しないからと云ふ事である。中には十四年のが少し残つて居たが、それも最早出し盡して了つたと云ふことであります。佛蘭西は尙相當餘裕があるものと見えて、各省の局長に逢つて話すと、最近のものが印刷されて居て大概呉れました。巴里の市役所の如きは、定價二十フランとしてある大冊のものを誰れにでも呉れて居ります。リオンの市役所も同様でした。然るに獨逸では大學に行つて見ても經費が非常に切詰められて居る様です。私の親しい教授がミュンヘン大學に有機化學の講座を擔任して居ります。今回其の案内で化學の部を一巡して見たのですが、政府

から出して居る實驗費はほんの僅かしかないらしい。其の教授の指導の下に實驗をし研究をして居る人は、三十人も居るけれども、其大多數は私費で民間の會社杯から實驗費を供給して貰ひ會社と連絡を取つて研究を續けて居るさうです。政府の費用でやつて居るのは僅かに二三人に過ぎない、非常なやり繰り算段をして兎に角研究だけは續けて居る。日本の大學専門學校でも一般に實驗研究の費用は甚だ少い様であります。が、それでも到底日本の比でない様に見受けたのであります。

私は北の方からハンブルヒ、伯林と彼方此方以前に變つた模様を視察したのでありますけれども、國民の勤儉生活や社會政策的施設の真相を観察するには、どうしても大都會だけでは不十分である。徹底的に之を調べるには小規模の田舎の方が却て便利であらう。大都市は餘りに仕掛が大に過ぎる。で田舎に行つてみつしりと一つ視察して見たい考を起しました。尤も以前私が獨逸に留學の當時、ブランドンブルグ州のマルクと云ふ郡に參つて一週間ばかりも單級小學校や、村役場、教會杯を訪ね、牧師で郡視學を兼ねて居る方の學校臨檢に隨行して見た事もありました。それが今から考へ

て非常に有効であつた様な記憶もあるのです。それで今度も早速伯林の労働者福利協會本部へ参りました。私の今度の視察の目的や、滞在期間の頗る短い事などを話して二、三日で手取り早く福利事業の全般を見る事の出来る様な地方が田舎にないか、一つ紹介して貰ひたいと頼んで見たのであります。すると種々相談して呉れまして、それでは伯林から餘り遠くないブランデンブルグ州中で労働者福利事業の最もよく行はれて居る所を紹介してやらうと云ふので、手紙を書いてカアラウと云ふ郡の郡長に紹介して呉れたのであります。

▲模範郡カアラウ

此の郡の郡役所の所在地は矢張カアラウと申しまして、人口三千五百位の小さい町で伯林の東北汽車で二時間程行つた所であります。私は大いに喜んで早速其郡に行つて見たのであります。此郡は人口が十二萬五千と云ふのでありますから日本では先づ大郡の方でありませう。面積はと云ふと七、八十平方里ですからして長野縣の十分の一愛知縣の四分の一位の大いさかと思ひます。汽車から降りて七、八丁歩いて郡役所

に行つて見ると、三階建の煉瓦造りのなか／＼立派な大きな建物で、其の役所の脇に郡長の官舎がありました。丁度其時郡長は風邪で引籠つて居られました。官舎へ來いと云ふ事で早速訪ねて御目に掛かつたのですが、五十恰好の頗る快濶な方で、一見仲々働きのある人の様に思はれました。大郡だけあつて斯んな立派な郡長が置いてあるばかりでなく、郡長の外に今一人理事官補とでも申しまます様な三十近い若い法學士の方が居られました。郡長不在の場合は此人が一切代理をするさうですから、再び郡役所へ参り此人に逢て種々訊ねて見ました。郡長の差圖で翌日郡役所の自動車で土木部長と福利部長とが同乗し町村を廻ることになりました。

此の郡には町が五つ、村が百五十五大地主の所領が九十七あります。獨逸の村には可なり小さいのがありまして、村の小學校に行つて見ると二十幾人しか生徒が居らぬ。そして其れを八學年の單級に編制して居ると云ふやうなのが方々にある。此の町の中で一番大きいのが人口一萬九千位のものであります。此郡は大體工業郡で農業四分一、商工業四分三と云ふ割合で、工業の主なもののは石炭の採掘であります。一丈ば

かり地表の砂を除けると全郡到る處に石炭が埋つて居るのであります。石炭と云つても褐炭でありますが、普魯西は前にも一寸申しました通り、昔氷期時代に北歐スカンディナヴィヤ半島から花崗石や片麻岩の白い砂を氷塊と一緒に押し流して來て其の砂で以て一面に被はれて居る。故に普魯西一帶は土地の表面が砂地で砂を以て出來て居るのである。それだから獨逸はあの通り土地が瘠せて居て佛國の様に肥沃でない。洵に氣の毒である。併しながら本郡では地下に到る處石炭があるので其の砂を除き所謂露天掘りで郡内數百の鑛坑を設けて、其間を鐵道で連絡し、盛に石炭を掘出しては鐵道貨車に積んでごんごん出して居ます。それに石炭と云ふ燃料が豊富にあるので、煉瓦を焼き、或は硝子を造る工場が諸處に在る。又褐炭を粉にして夫れから煉炭を製造して居る。斯う云ふ様に工業が仲々盛なので、郡内には工業労働者の數が頗る多いのであります。隨て郡の行政として労働者福利事業に大に力を用ひて居る様な次第であります。

此の郡の郡役所には労働者福利部を置き、それを六つの課に區分して居るのであります。即ち労働課、保健課、保護課、青年課、通俗教育課及び總務課の六つであります。そして去一九二五年の福利部の經費豫算が五十一萬餘馬克でありますから日本の金にすると三十萬圓以上であります。一郡の社會事業に三十萬圓の費用を投じて仕事をして居るのであります。其三十萬圓中の過半、即ち約十七萬圓と云ふものは保護課の事業に使はれて居る。そして其の事業は養老、養育、救貧、精神病者、聾啞、盲人、産婦等の保護救済が主なものである。保護課に次いで労働課であります。此課では郡の負擔に屬する労働者の失業手當に約五萬圓を使つて居ります。それから保護課で、約三萬圓程を兒童保養所其他に使つて居ります。そして残りの五萬圓を通俗教育課、青年課及び總務課の經費に當て、居ります。斯くの如く三十萬圓程の經費で社會事業をやつて居るのであります。翌日は早朝から郡役所の立派な自動車で土木、福利兩部長の案内で各町村の主なる施設、殊に私の郡長へ希望を述べて置いた所を連れて廻つて呉れたのでございます。

最初に案内して呉れたのは、學齡の兒童で身體の弱いものを收容する兒童保養所で

ありました。郡立の無料診療所では毎週一回學齡兒童で身體の弱い者を診察することになつて居る。そして其診察の結果、虚弱と認められた者は郡の兒童保養所に送るのであります。此保養所は村端れの閑静な森の内に設けて居る二階建の一軒家で可なり広い庭があり、其側を清い小川が流れて居ます。此處には監督の婦人が一人と、補助の使用人格の婦人が二人居ました。備附のベッドが五十ありまして、冬も夏も各三回六週間づつ五十名の兒童を收容します。即ち年に三百人の兒童を收容する事になつて居ります。階下の廣い一室を晝間の室と稱へ、食事、遊戯、讀書杯に使用して居ります。又浴室には撒水浴及溫浴の設備があります。二階が寢室になつて居つて、三室に區劃されて居る。そして監督の婦人の寢室が中央に設けられて窓を通して、同時に三つの寢室を看視する事の出来る様になつて居る。又寢室に備附けてあるベットは皆鐵で拵へてあつて、白いエナメルを塗つてある。そしてそれへ白い毛布が敷いてある。各ベットには枕頭臺が一箇と衣裳箆筒が一つ附屬して居る。此等の寢臺寢具其他の一切のものは、これまで軍隊で兵士が使つて居つたものであるさうです。それへ皆寢さし

て居ます。此の通り空氣は良し、夏は前の小川で水泳をさせる、附近の森の中を盛に歩き廻はらせる、それで兒童は見違へる程肥滿し、頗る元氣になつて歸つて往くと云ふ事であります。一巡の後監督の婦人は私共一行の爲めに珈琲と手製の菓子を饗應して暫く雑談をしました。婦人は一見農夫の妻の様で、風采は甚だ揚らぬけれども、兒童の保健衛生や教育上には仲々意見を持つて居ました。獨逸では斯んな田舎にまでも相當役立つ婦人が置いてあるのに、日本には斯う云ふタイプの婦人の頗る乏しいのを遺憾に思ひました。

尙此郡では保護事業の一として四人の保護婦を置いて居ります、保護婦は大體看護婦のやうなものでありまして、郡役所の醫師の仕事を手傳はしたり、民家を廻らせたりして居ります。即ち全郡を八つの福利管區に分けて、一人の保護婦が二區づつ分擔して居る。そして常に郡の醫師と連絡を取つて、色々世話をして居るのであります。兎に角そんな風に斯う云ふ田舎に至る迄獨逸では、婦人が能く働いて居るのは洵に羨ましい事であります。伯林にある労働者福利協會本部を訪ねましても、其のお隣

りのプランデンブルグ州支部に参りましても、亦獨逸赤十字社に行つて見ても、働いて居るのは殆ど婦人ばかりである。福利協會本部の如きは會長から各部長、事務員、下働きに至るまで女ばかりで、男と云ふものは一人も居らぬ。福利協會のプランデンブルグ支部の如きも主任者は矢張婦人で、事務員も殆ど婦人ばかりで、男は一人しか見當らなかつた。其處で紹介して呉れた福利事業文庫に参つたのですが、其處でも世話になつた参考圖書を扱つて居た人達は、主任者から下働きの者に至るまで悉く婦人ばかりでありました。労働者福利事業とか、社會事業とか云ふやうな仕事は殆ど女の仕事になつて居るのであります。そしてそれが又なか／＼達者に働き、大に能率を擧げて居ると云ふことが、今回特に私の注意を惹いた一つであります。私は今回各大都市の市役所を訪ねたり、諸官省へ行つたりして、調査に必要な種々の印刷物を貰ひ集めたり、新刊の参考書を訊ねたりしたのであります。處が何處でも役所の地下室杯に設けられて居る圖書室へ紹介されたり案内されたりするのであります。其所へ行つて見ると必ず婦人の司書が事務をやつて居る。男が圖書を扱つて居ると云ふやうなことは殆ど見なかつたのであります。處が日本では全く其の反對であります。

先日も私の關係して居る日本圖書館協會の總會へ出て見ますと、百人近くも集つて居るのに婦人は唯の一人も見えぬ。それで私は此事や同協會の役員に婦人の一人もない事など指摘して、斯んなに男ばかりで獨占しないで、斯う云ふ圖書館事業の如きは最も婦人に適した職業だから、將來段々婦人の手に委ねて、男は男でなければ出来ない様な活潑な他の仕事が幾らもあるから、其の方へ向はふではないかと云ふ様な話を致したのであります。労働者福利事業などにしても、さうであります。私は何とかして日本も今少し婦人の教育を高くして、大概の事は婦人でやるやうにしなければ本統でないと思ふ。

話が少し横道へそれましたが、其處から次に連れて行つて呉れたのは職業紹介所でありました。此の紹介所の設けられて居るのはゼンフテンベルクと云ふ町で、褐炭の出る中心地で、自然労働者の比較的多い地方であります。其處で話して居りましたには、近來は頗る好都合で仕事澤山で、失業者が少く全郡で僅かに三十人しかないと

云ふ事でありました。兎に角此の通りちやんと全部内ですべて幾人の失業者があるかと云ふことが、調べられて判つて居るのであります。現在は三十人しかないが、一年間を通してどれ位失業者があるか聞きませんでした。労働者の失業手當の郡の負擔に屬するものだけでも、前申す通り三萬圓近くの巨額に達して居るから、少なからぬ失業者のある事と思ひます。

福利部長の申されるには昨今は御蔭で失業者は少いけれども、其の代り如何にも給料が安い。石炭掘りの労働者などは勞銀だけでは生活が頗る困難である。さりながら先程御話した通り、鑛山主資本家の方でも税金や社會的負擔などが非常に多いから、澤山勞銀を拂つては事業の方が引合はぬのである。それで已むを得ず賃銀が多く拂へないのである。それに物價が益々騰つて來るばかりだから如何にも氣の毒だ、一週間に二十八馬克、一日に割ると四馬克位にしか當らぬ。日本の金で二圓三、四十錢にしかならぬのである。それ位のものでやつて居るから勢ひ營養が不良に陥り、其の結果肺病患者が労働者仲間に多くて仕様がなない。斯様に肺を悪くしたり、目が悪くなり、視

力が衰へたりするのは、畢竟皆營養不良から來るのである。さればと云つて勞銀を高くすれば工業が引合はず、勞銀を安くすれば病人や貧乏人が殖えて、郡の負擔を増すと云ふ兩天秤に懸つて居ります。それで此郡なども小さければ小さいなりに、種々と社會政策的施設、労働者保護救済、福利増進の事業をやつて居るから、郡の負擔はなかく、輕くない。隨て資本家の負擔が益々増すばかりで、立行かず餘程苦しいのである。實に苦心慘澹たるものがある。實際これが獨逸全體の現状であり、正しく其の縮圖と見て差支ないのである。この苦心慘澹たる經營振りを規模の小さい郡村に來て見た時、一層痛切に感ずるのである。其のやり方が小さいだけに直に見えるのであります。伯林の様な大都市では斯う云ふ感じは容易に起らぬ。故に斯う云ふ問題の視察は、どうしても田舎に行つてしなければ駄目だと思ひました。

それから直ぐ其近くの獨逸消費組合のゼンフテンベルク支部に案内して呉れました。この組合の本部はハンブルヒにありまして、それが全國の支部を統一して居るのであります。このゼンフテンベルグ消費組合は、十ヶ所の賣店を有し、組合員は主と

して労働者で、すべて一萬二千戸加入して居ります。加入者は最初三十マルクを預け入れることになって居る。専ら食料品衣類其の他あらゆる日用品を賣るのですが、普通の小賣店よりは一割乃至二割方安く買へる様になって居る。そして商品の品質が頗る良いのであります。どうしてそんなに安いかと言へば、勿論中間の商人の手を経ないからである。例へば日本米の如きハンブルヒの本部を通つて、直接此所へ來るのである。其他の商品も同様だから安い譯だ。尙此組合では普通の銀行よりも有利な貯金の制度や、組合員に葬儀費を給する共済の制度もあります。

獨逸は斯う云ふ様な消費組合の制度が、著しく發達して居るものと見えまして、伯林で小學校長と彼方此方連立つて歩いて居る際にも、其の校長が加入して居られる伯林訓導協會經營の消費組合の特約店が各處にあります。それで校長は會員證を出して見せ、普通のお客さんよりは何程か安く買物をします。普通の店よりは三分乃至一割方安く買ひます。殊に音樂關係の品物は一割八分も安く買へるさうであります。之れは獨り教員に限つた事ではなく、何の職業にも同様の消費組合を有つて居ります。そし

てそれ等の組合から少からぬ恩恵を受けて居るのであります。ゼンフテンベルヒの消費組合での事務員の話に依りますと、此頃では労働者の収入が少く、一般にぎりぎり一ぱいの生活をやつて居るので、蓄積する餘力がない。折角貯金の制度はあつても之れを利用する者が殆どない。唯農民が少しばかりづつ、貯金をして居る位のものである。大戰後の紙幣濫發で札や公債が暴落し、一番打撃を受けたものは、月給取り俸給生活者であつた。然るに農民は地面を有つて居つたり、土地に作附けをし居るので食物に不自由を感じないばかりでなく、二三ヶ月も辛抱すれば收穫があり、時の相場で賣拂ふ事が出来たから、餘り打撃を蒙つて居らぬ。それで今日僅かづつでも預金をして居るのは農民である。之に反して工業労働者は如何にも氣の毒である。

それから次に案内して呉れたのは、保健課の所管に屬する郡立の無料診療所でありました。七、八十坪の二階建の建物で、エツキス線の設備もあつてなかく立派なものでありました。この主任者は醫學士某と云ふ方で、丁度外來患者の診察中でありました。私の參つた時には、肺病患者だけを見て居りました。十七、八人の疲せ衰

へた労働者らしいのが来て居りました。明日は骨の曲つた患者ばかりが来る。其の次の日は乳兒ばかりと云ふやうに、夫れ／＼日を定めて診察して居りました。學齡兒童で診察の結果身體の弱い者は直ぐに郡立の兒童保養所へ送ると云ふ事になつて居るさうです。

それから次には青年課の所管に屬する獨逸青年宿泊協會の宿舍へ連れて行つて呉れました。此會は伯林に本部を有し、全國に亘り各地に支部があつて、頗る有力な團體であります。一體本郡の青年團體には何んな種類のものがあるかと聽いて見た所が、福利部長の言はるゝには其の種類も種々ある。労働者青年會、或は民主労働青年會、或は基督教會で造つて居る青年會、體育協會、處女會、漂鳥會等、此郡だけでも百五十はある。隨て郡役所にも青年課と云ふやうなものを置く必要があるのである。この青年宿泊協會に就ての話は、伯林で聽いて大に興味を感じて居たので、前日郡長に是非それを見たいと希望して置いたので、連れて来て呉れたのであります。此宿泊所はワングーフオーゲル團其他の青年旅行團體を、殆ど無料同様で愉快に宿泊させる爲めの設備であります。

ワングーフオーゲルは涉鳥團とか、漂鳥團とか譯して居りますが、是は伯林郊外スレーグリッツに起り、それから全獨逸に普及したもので、小學卒業の青年男女即ち十四歳以上のものに、八人十人と團體を造つて田舎を旅行させて、青年訓練を行ふ爲めの最も特色あるもので、全國各地互に聯絡を取て便宜を計つて居ります。以前は此ワングーフオーゲルは湯を沸かす爲めの鍋を腰の邊りに下げ、樂器を携へ背囊を脊負つて、頗る輕快な身仕度で歩き廻はり、森の蔭で休息しては珈琲を造つて飲んだり、歌を歌つたり、舞踏をしたりして樂み、晩になると到る處で百姓家の枯草小屋にごろ寝をすると云ふ風でありました。然るに今回獨逸へ来て段々話を聽いて見ると、戦後は青年男女訓練の方法として、頗る之れを重要視して參り、近來は其等の青年男女の旅行團の爲めに宿泊所を造る様に成り、現にブランデンブルグ州だけでも、此種青年男女を寢泊させる爲めの宿舍が、五百二十五造られたと云ふ事でありました。昨日郡長に會つた時にも此話が出て、私の郡でもやつて居るから明日は是非見せますと云つて

居られました。

案内されて其處へ往つて見ると、丁度東京の地震後に出来た諸官廳のバラックのやうなもので、内へ入つて見ますと、中廊下で左右に男と女とに仕切つて、男女の寢室を別々に設けベッドが二百備付けてあります。それから別に講堂兼用の集會室と、食堂とがあり、炊事場がある。洗面場も男女別々に出来て居る。婦人の監督者が一人置いてある。此處で宿泊する旅行團體は獨逸の各地から来る。ハンブルグからも來れば伯林からも来る。案内の福利部長の話をして見ると、此建物は大戰後不用に成つた兵營を持つて來て改造したものであるさうです。私共の國は常備軍は十萬に制限せられ、學校では軍隊教練が禁せられて出来ないから、國防力を補充するには斯うして青少年少女を訓練するより外はないと云ふので、兵營を持つて來てそれを宜い工合に改造したものであります。又其所に備付けてあるベッドも皆兵營で使つて居つたもので、鐵製で二段に成り白いエナメルで塗つてある。毛布も兵營で使つて居た立派なものである。其の他各ベッドに附屬して居る洗面器、着物を仕舞ふ爲めの衣裳箆筒から、炊

事場で使つて居る大きな鍋釜に至るまで、皆兵營で使つて居つたものを其儘利用して居る。さうして其大きな鍋では、附近の二つの小學校の爲めに毎日スープを煮て、學校生徒の食事時に運んで居ると云ふ事である。又團體が泊ると希望に應じて安價に其所で炊事をしてやる事もあるさうです。又建物の一室が幼稚園になつて居ります。幼稚園と云ふよりは寧ろ託兒所と云ひたい様なもので、労働者が夫婦で晝間仕事に出て行つて居る間、幼年の子供を其處に預かるのである。故に子供は三歳乃至六歳の兒童で、労働者の子供に限られて居るのである。

次には其處を出てもう一ヶ所兵營を改造した處へ連れて往つて呉れた。即ち兵營を改造して青年會の會館にしたものである。この會館は平屋建てでバラックの少しばかり上等なものであるが、廣い芝生の運動場もあり、可なり良い設備である。其所は晩になると多數の青年が集つて來るさうです。それで二百人位收容出来る講堂があり、講堂には舞臺があつて、一寸した素人芝居や、音樂會などが出来る様に成つて居る。其所は誰が經營して居るのであるかと問ふて見たら、附近の教會の牧師がやつて居られ

るさうです。此牧師は立派な教會を預つて居て、其の本職の傍ら青年會の方を世話して居られるのです。

私は今回彼方此方歩いて見て社會事業に宗教家、教會の牧師が可なり多く關係して居るのを見ました。青年會ばかりでなく婦人會其他種々の會に關係して、其地方の社會事業の中心人物になつて居るのである。此處でも豫て郡役所から通知してあつたものと見え、牧師が出迎へて案内をして呉れた。其の牧師さんは一寸見た處四十臺の元氣さうな大男でしたが、後で其の年齢を訊いて見たら、六十八歳だと言ふ事で一驚を喫しました。頗る豪放な事業家肌の人で盛に氣炎を揚げて居りました。其の牧師さんの教會に行つて見ると、建物其他の設備が極く新式で、内部の照明から裝飾に至るまで非常に新らしい感を與へました。私はこれまで教會と云へば、日本のお寺の様に古い建物で莊嚴なものと思つて居ましたが、田舎に斯んな新らしいのがあるのを見て大に驚きました。現代式の此教會堂の特色は、其の如何にも民衆的な點にある。採光の工合から暖房室内一切の裝飾までが餘程新しい進んだ頭で出來て居て、何

となく居心地が良くて然かも崇高の念の起る様に出來て居るのである。何とか云ふ建築界の權威者が設計したもので、新らしい教會の模範だからよく見て置けと云はれ、私は少からず感心した様な次第であります。

其教會の直ぐ脇に牧師さんの住宅があつて、其裏の方が牧師さんの廣い畑である。地積が三反ばかりもありました。牧師は暇さへあれば其の畑へ出て、毎日農業をして居ると云ふ事でした。尤も獨逸では牧師ばかりでない、村の小學校長さんも盛にやる。獨逸の教員の月給は悉く國庫から呉れて居るけれども、田舎では年功加俸、地方加俸の一部分を、自治體から物で支給する事になつて居る。即ち小學校に學田とでも稱すべきものが數反あつて、それが先生に屬し、村の單級小學校などにあつては、先生自ら其畑を耕して居る。勿論百姓男を頼んで耕作させて居る人もあるのである。故に斯んなに牧師さんや校長さんが畑へ出て農事をやると云ふことは、獨逸では珍らしいことではないのでありますけれども、六十八歳の老牧師さんが、斯んなに元氣で教會の仕事の傍ら種々な社會教化事業もやり、農業までもやつて居るのには聊か肝を潰

したのであります。それよりも私の更に感服したのは、其の牧師が頗る有爲で、斯んな片田舎にまで獨逸では、相當有爲な人材を配置して國民の教化に努力して居る事であつた。

話が屢々横にそれますが、此郡では通俗教育課の事業の一として家政婦を置いて仕事をさせて居る。相當豫算を計上して、家政婦に家庭を歴訪して家政を指導させたり、若い婦人を集めて衣食住の事から育児看護に至るまで、家政の全般に亘つて屢講習を行つて居ります。實は私は獨逸で斯ういふ事が行はれて居るとは思つて居ませんでした。北米合衆國では高等女學校の卒業生を女子大學や農科大學の家政科に入れて、二年乃至三、四年間教育して斯う云ふ仕事をやらして居るのであります。亞米利加之臺所設備が世界一科學的であると謂はれ、殊に農村が改良され、農家の家庭生活が改善充實して來たのは、全く此の農科大學や女子大學で教育された婦人の力だと言はれて居るのであります。此度獨逸に來て見まして、成る程農民や工業労働者の家庭生活を向上させ、衛生状態を改良するには斯う云ふ婦人の力に俟たなければならぬ

など云ふ事を痛切に感じた。高等女學校を卒業してから更に大學なり、家政の専門學校なりに勉強した働の有る婦人を、郡役所なり、縣廳なりに置いて、巡廻講演をさせるなり、家庭を歴訪させるなり、或は農閑の時には若い細君や娘達を集めて講習會を開き、實地に就いて實際的の指導を行はせる事が必要である。斯う云ふ方面の事に就ては女と云ふものはなか／＼力が有る、私などが婦人方に講演をして見た處が仲々聽いて呉れないが、同じ内容でも之れを婦人の口を借りて言はせると通りが宜い。同情を以て本統に聽いて呉れる様である。日本ばかりでない、歐羅巴でも亞米利加でもさうだらうと思ふ。故に婦人を斯う云つたやうな社會事業殊に家政婦とか巡廻婦人講師とかに使ふことは、最も其の當を得たものと私は考へるのであります。之れは空想ではない實際の成績を見てさう感じたのであります。

それからゼンフテンベルグ町第一等のレストウランと云はれて居る料理屋へ案内して其の設備を見せ、晝飯を饗應して呉れてから、大煉炭會社の工場附屬の模範住宅地區を見學し、次に郡内で一、二と謂はれて居る大地主の家へ案内して、邸内の畜舎か

ら作業場等に至るまで一通りの模様を見せて呉れたのであります。

それから更に自動車を走らせ、もう一ヶ所獨逸青年宿泊協會の宿舍へ案内して見せて呉れました。此宿舍は小學校の屋根裏に造作して出来て居りました。此處では宿泊團體の名稱や人數引卒者の姓名を書いてある宿泊帳を見て、其の獨逸全國からやつて来て居る事を知つて興味を覺えました。又其の宿泊料が一人二十片、即ち十二錢程である事や、炊事用の瓦斯が自働裝置に成つて居て、十片即ち六錢のニッケル一文を投込めば、自炊が出来る事などを見て面白いと思ひました。この宿舍のベットの數は九十五でありました。この通り小學校の屋根裏まで使つたり、兵營の古物をも利用して青年男女の身體を鍛へ、次代國民の士氣を鼓舞することに殆ど全力を傾注して居るのは洵に感服の外ありません。斯くて日没後漸く郡長の官舎に戻つて報告をし、挨拶を述べて一日の視察を了つた様な次第であります。

これは前日の午後の事でありましたが、郡役所を退出してから福利部長の案内で此町の婦人會の經營に屬する幼稚園を訪ねました。一種の託兒所に過ぎませんが矢張幼

稚園と呼んで居ります。町には労働者が多いので託兒所の必要があると見えます。近頃は日本でも工業地は勿論農村でも段々託兒所を設けて、夫婦共労働に行く人の子供を預かる様になりましたが、それが獨逸では實によく普及して居るのであります。獨逸には大きな婦人會が三つあります。即ちそれは祖國婦人會と労働者婦人會と教會の婦人會とであります。當日私の見に往つたのは祖國婦人會の經營に屬するものであります。此處には三人の保姆が其の二階に宿泊して居て、五十人の幼兒を毎日午前八時から午後四時まで預つて世話して居ります。親からは一日に三錢づゝ徴して居るだけで、一切無料で世話して居ります。この婦人會は三十年前の創立で、本部は伯林にあり、全國組織的になつて居ります。

尙此郡には方面委員の制度がありまして、八つの福利管區では年二回の總會を開きます。人口三千五百の此カアラウ町には七小區に一人づゝの委員を置かれてある。委員には婦人もあります。郡役所の福利部では機關誌、ナハバールシャフト（隣保）を發行し、委員には無料で配布して連絡を計つて居ります。福利事業として本郡では大

體以上申述べた様な事をやつて居ります。我邦では郡役所が廢止されたので、其の一部は縣でやり一部分は當然町村で爲すべき仕事であります。獨逸は大戦後の財政困難の折柄にも拘らず、よくまあ斯んなに徹底的に手が届いて居ることだと、大に感服した様な次第であります。

▲底力のある經營振り

獨逸は大戦中多額の軍費を出した上に平和條約の結果、一千二百億金貨馬克の償金を負擔し、戦後彼の紙幣の大暴落に出逢ひ、經濟上の打撃は實に非常なものであります。それに尙ほ今日も海外貿易は輸入超過で、年々十一、二億圓の超過に成つて居ります。是は主にも食糧品や工業の原料品不足からであります。獨逸は斯んな苦しい中から、斯う云つたやうな國家百年の大計を忘れないで、根本的の施設には金を掛けて、決して惜しまないのであります。

今回私がハンブルグへ行つて見ますと、大戦後市の隣接地に於て、新たに十八町歩の土地を或る大地主から買収して一つの公園を造營中であつた。そればかりでなく、

今一つ郊外に百八十町歩の大公園の建設を企て、今回私の参つた頃、丁度此二つの大公園が出来上つた處でありました。市の役所を訪ねて希望を述べますと、公園課の技師長は自ら案内して見せて呉れました。現場へ参つて見ますと、非常に廣いもので、然かも公園として最新式の設備がしてあります。日曜休日になると非常な人出であります。中産以上のブルジョア階級の人達は、自動車を走らせ汽車を利用して、遠い所へ出掛けて其處で運動、遊戯、娛樂、保養意の儘であります。國民の大多數を占める中産以下労働階級になると、手辨當で公園へでも押出すより外に方法はない。それで日曜には此所へ百萬人からの人が來ると言つて居りましたが、ハンブルヒの人口全部で大體百萬人ですから、それは少し話が大き過ぎると思ひました。それにして三十萬や三十五萬の人は必ず集つて來ると思ひました。ハンブルヒには此二つの新公園ばかりではない、そんな様なのが尙方々にあります。

新設の大公園に往つて見ると、水泳をしたり、子供に水を涉らせたりする爲めの大小の池が幾つもあり、又舟を漕いだり、市から帆前船で遊びに往ける様な大きな池も

ある。それにロオンテニスコート、フットボールや徒競走杯の爲めの大小の運動場が到る所に幾ヶ所も幾ヶ所も設けられて居る。又草花の花壇、水草の沼澤、鬱蒼たる森林地帯もある。又森を縫つて馬を乗り廻はす爲めの馬場も設けられ、中央には五萬の民衆を收容出来る會館音楽堂大小の茶店もある。ハンブルヒばかりでないケルン其他獨逸の都市では競つて斯う云つたやうな公園を盛に造つて居りました。國民の體格を改造し、獨逸を立て直すと云ふ點から見て、此等は頗る意義の有る施設だと私は思ひました。

公園と云ふと一寸贅澤物のやうに考へ、在つても無くても何れでもよい様に思ふものもあるけれども其の實決してさうでない。獨逸は財政困難の中から眞に命懸けであります。この公園に依つて國民の體格を改造し、彼等の健康を増進する事に懸命であります。ブルジョアや、中流以上のものが贅澤をしたり、遠方に遊びに行き面白くやつて居るのに、國民の大多數を占める中流以下のものや、貧乏人だけが黙つて内に引込んで居る譯には行きませぬ。貧乏人は貧乏人なりに近い距離を電車に乗り、手製の

辨當を持つて空氣のよい公園に出掛けて、一日を愉快に一家族團欒して遊んで來ると云ふことは頗る意義のあることであります。國民の娛樂健康増進と云ふ點でも、亦此の通り少數者の獨占を許さず、機會均等が主張されて居るのであります。即ち國家として立つて往くには、國民全體の質を良くし粒を揃へなければならぬ。一人でも社會の厄介物癩物病人を出さぬ様努力して居るのであります。斯う云ふやうな點から云ふと、我が東京市などの設備は極めて貧弱である。公園らしい公園は殆ど一つもない。巴謂つて差支ない。彼國では上野や日比谷の公園位はのである。小公園に過ぎない。巴里の如きはそんな小公園は市内に七つも八つもあり、そして數十萬坪の大公園は市の外縁に設けられて居るのである。斯う云ふ設備に比べると、東京には二三小公園の外には眞の公園らしい公園無しと言つて過言でありません。日本の大都市では今日尙公園を火除け地位に考へて居て眞の意義を解せず、本當に其の必要を感じて居る當事者の甚だ尠ないのは頗る遺憾に堪へません。さう云ふやうに日本の遣り口は如何にも淺薄で、目前の事ばかりに囚はれ一時凌ぎである。之れに比べると獨逸のやり方は實に

徹底的であり底力がある。きび／＼して居て氣持が好い。

私は今回日本赤十字社の依頼を受けて、ドレスデンの獨逸國立衛生博物館を訪ねなければならぬ用事があつて参つたのでありますが、今日は市内の高等獸醫學校の古校舍を借りて借家住ひをして居ますけれども、其の蒐集品の豊富で工場其他の事業の經營振りは至極堅實で、來年度からは三百萬馬克の豫算で本建築に着手することに極まつて居るさうです。日本には東京にも、大阪にも、市なり國なりで經營されて居る衛生博物館と云ふやうなものは、遺憾ながらまだ唯の一つもないのであります。内務省の衛生局では豫て衛生參考館の建設を計畫せられ、年々其の豫算を要求して居られたのでありますが、今日まで遂に其の實現を見るに至りません。我邦の様に衛生思想の幼稚な衛生状態の甚だよくない國では、國家百年の大計から見て衛生博物館の二つや三つは、是非なくてはならぬ筈であるのに全く閑却されて居る。之れに比べると獨逸はよく根本的問題を理解して居るのである。困難の中から三百萬馬克の金を投じて國立衛生博物館を改築する其の意氣込が洵に羨ましいのである。實際金を掛けなけ

ればならぬことには、如何に苦しくても相當に金を出して居る。やり方が如何にも遠大で底力が有る。斯う云つた様なことを私は事々物々に就て感じたのであります。さう云ふ様な譯で獨逸は六百萬人からの人口を減じ、經濟上にも非常な打撃を受けて居るけれども、尙人口六千二百萬人の大國民であり、且つ段々申上げた様に國家百年の大計を立て、如何にも堅實な底力のある經營振りを見せ、只管國力の回復に銳意熱心しつゝあるのであります。

▲佛國の一大脅威

故に獨逸は佛蘭西の一大脅威である。獨逸が斯様な状態でありますから、佛蘭西としては非常な脅威を感ぜざるを得ないのであります。佛國は戦前まで人口四千萬人少以上あつたのですが、戦争で三百五十萬人を減じた。獨逸からアルサスローレンを取返したので、それだけ人口が殖えた筈だけれども、それでも尙非常な減少で戦後は三千七百五十萬人に過ぎなかつたのである。爾來佛蘭西は非常な努力で伊太利やポーランド其他から盛に移民を吸収した結果、漸く三千九百萬臺に達したけれども、佛

蘭人種としては非常な減少である。殊に戦争前までは死亡の數よりは出産數の方が僅かに多かつたけれども、大戦後は死亡の數の方が出産より多くなつて居る。此人口の一點のみでも佛蘭西が獨逸に對して脅威を感じるのは無理もない話だと思ふ。佛國は戦争後出産の奨励、嬰兒の保護に力めると、同時に獨逸に對抗して強い壯丁の養成、國防力の恢復充實と云ふことに大に力を用いて居るのである。其の熱度は私は獨逸以上であらうと思ふ。今度の戦争で死んだのは勿論双方とも非常な多數に達したのですが、戦争に依て負傷し不具廢物になつた人達の數も亦之れに劣らぬのである。

今回私は佛蘭西へ行つて見て第一に眼に着いたのは、街上でも電車の中でも手の一本ない人、脚の片方ない人を到る處で見受けた事である。戦争から受けた損害の甚大であつた事を想はしめる。然るに獨逸に入つてからはそんな人は殆ど一人も見ない。餘りの不思議に其の譯を問ふて見ると、獨逸では戦争が了ると廢兵の爲めに早速職業を授ける講習會を開いて、彼等に夫れ夫れ地位職業を與へて仕舞つた。皆家の内で仕事に當つて居る。それで街路の上や電車の中では餘り多く見受けなだらうと云ふ事

でありました。佛蘭西では廢兵の處分も打ち捨てた譯ではないが、それよりも寧ろ青年の身體を良くし、一人でも徴兵合格者の殖えるやうにと大に努力して居る様である。之れには陸軍大臣が特に力を入れて居る。佛蘭西では全國を十八の運動區に分けて、各運動區に一人づゝの會長を設けて居る。日本で云へば嘉納治五郎先生と云ふやうな民間體育界の權威者を會長に推して、其の統卒の下に盛に青年の體育訓練をやつて居る。さうしてそれ等の體育運動の團體に向つて陸軍省が大に援助を與へて居るのであります。陸軍は獨り外部に對するばかりでなく、内部に於ても亦聯隊と聯隊、師團と師團との對抗競技を行はせるなど、軍隊内でスポーツを奨励して居ることは實に非常なものであります。近來軍隊内でスポーツが盛になつた爲め、兵卒がレストランに行つたり、カフェーに入つたり女に關係したりする暇がなくなり、風儀が改善され頗る良く成つたと云ふ事である。斯う云ふ状態だから佛蘭西の民間の運動熱と云ふものは非常なものであります。公園などに出來て居る器械體操競戯運動場の設備は、大抵陸軍省の御聲掛りのものばかりだと云ふ事です。陸軍はそれ等を單に設備の方面だけ

で援助するばかりでなく、體操學校を拵へて其處で體操や競技の先生を養成して、民間の體育會や運動場へ配置するやうにして居る。佛國の陸軍では斯う云ふ様に正々堂々と國民の運動體育を奨勵し、援助して居るのである。若も日本の陸軍が軍隊の外部にまでそんなに手を伸ばすならば、必ずやれ軍國主義だの、やれ軍閥の横暴だのと云つて彼是れ排難する者があるでせよが、大戰後の歐洲ではそんな程度のこととは最早通り越して居る。國防の充實の爲め實に一生懸命である。

斯様な次第であるから佛蘭西では何處に往つて見ても、スポーツの盛なことは驚くの外ない。先年巴里で萬國オリンピック大會の行はれた際出來た大きなプールがある。一日私はそれを見に行きました。それはこれまで餘り見たことのない立派な大きな設備で、多數の俱樂部員が男も女も來て泳いだり、水上の競技をしたりして居ました。私の特に驚いたのは男子に混じつて四十恰好のぶく／＼太つた色白の巴里美人が日本の家屋の三階の屋根位の高い飛込臺から、直逆さまに引繰り返つて水の中へ飛込むのである。それから暫くするとぶく／＼と水面へ浮んで來て、拔手を切つて揚がつ

て來るのであります。日本の丸鬚や島田に結つて婦人がこの有様を見たならば、何んなに膽を潰すことだらうと思ひました。この一事を見ても一般に運動熱が如何に盛であるかが分かる。一時間何程かを拂へば誰でも隨意に使へる有料のロソテニスコートが、到る處に幾つも設けられて居て、毎日勤務時間後や休日、多數の男女が集つて來て盛に運動して居る様は實に羨ましい。隨て技術も進歩し近頃は國際的の競技では佛蘭西は常に優勝をして居る。彼のスポーツを以て國民の品性陶冶、人格養成の唯一の教育方法にして居るだけに、運動競技が最も發達して居ると謂はれる英吉利をさへも凌駕して居るではないか。佛蘭西が如何に國民の健康増進、國民の體格改造に熱心であるかと云ふことは、それでも想像出来る。

佛國民をして斯くまで奮起せしめた動機は、既に申述べた通りであります。大戰中頗る有爲な國家の中堅人物を多數失つた事は、恐らく其の刺激の最強烈な一であつただらうと思ひます。私の極く親しくして居る某外交官が巴里の日本大使館に居られました。其方は彼の有名なりオンの政治大學を出た人です。此大學からは尙本邦法曹

界の泰斗梅謙次郎さん、富井成章さんが出て居られます。其の外交官の同級生三十名の方々は悉く今度の戦争に出られたさうですが、唯一人の外は悉く死んで仕舞はれたさうです。其の生き残つた一人も片脚を失つたと云ふ事があります。三十歳乃至四十五歳位で相當な社会的地位を占めて居た有爲な人材を如何に多く失つたか、この一事を以ても想像出来るではないか。労働者の方面に就ても同様である。殊に農業の方で働き盛りの多数農民を失つた證據には、農夫の数が不足して耕地を悉く耕す事が出来なくなつた。其の結果昨年邊り迄はあんな農業國でありながら、小麥が不足してキヤナダ其他の外國から輸入を仰がなければならなかつたのであります。それで近來波蘭伊太利邊から移民を澤山入れて農業に従事させた結果、漸くにして自給自足出来る様になつたのである。

佛蘭西は戦争に依つて斯くの如く人物の上に大損失を蒙り、人材の缺乏を來たしたばかりでなく、經濟上の打撃も亦非常なものである。佛國が大戦中英米より借入れた戦費は、實に莫大の額に上つて居る。それに戦後も豫期の如く獨逸から償金が取れぬ

ので、大戦後の復舊に要する金を米國邊から盛に借り込んだのであります。其の結果外債は非常な多額に達し、戦捷國でありながら其の負擔は獨逸以上であります。公債の利息が佛國政府の歳入の五割一分乃至五割三分の巨額に上つて居ると云ふことであります。故に佛國の財政は餘程の困難に陥いて居ります。佛國の政界は多数の政黨に分れて居て、夫れ夫れ主張を異にして居る。大藏大臣が増税案を出しても議論の一致を見ず、議會の協賛を得る事が出来ない。其れが爲め財政問題で内閣は更迭ばかりして居る。歳入不足でも國家を維持するに必要なだけの國費は支出しなければならぬから、政府は其の辻褄を合はせる爲め、紙幣を無暗に發行するの外他に方法がないのである。其んな風でありますから佛蘭西の財政經濟の信用の無いことは夥しい。其の結果戦前一フラン四十錢して居たものが今日は十錢位に成り、最近の暴落では五六錢の處まで來たのであります。今回の戦争の結果、從來露西亞やバルカン邊りへ貸し出して居た債權が全く取れなくなつて、澤山の破産者を出し非常な打撃を受けて居る上に、今日のフランの暴落ですから、佛蘭西の財政上の困難は一通りであるまいと思

ひます。

次は住宅問題であります。佛國は獨逸と同様に非常な住宅不足であります。住宅の問題に就ては私は豫て興味を持つて居たから、政府や自治體が實際に各所でやつて居る施設や、また民間でやつて居る住宅補充の施設を、彼方此方と見て廻はつたのでありますけれども、もう餘り時間もないので具體的なことは省いて置きますが、兎に角佛蘭西が住宅不足を感じ、之れが補充に努力して居ることは獨逸以上であります。而して其の方針として戦後小住宅の建設に向つて特に力を入れて居ります。私は以前獨逸に稍長く居ただけで、歐羅巴の他の國の事情は餘りよく知らなかつたのであります。故に歐羅巴では都會人は皆アパートメントに住つて居るもののみ思つて居つたのであります。然るに今回再び歐洲に来て見ますと、最近の傾向はアパートメントよりは寧ろ英米式の小住宅が一般に愛好され、普及して來て居るのには、聊か驚かされました。郊外に安い土地を得てそれへ一二の家族だけが住む爲めの、獨立の一戸建又は二戸建の小住宅を造ることが専ら流行つて來たのであります。

殊に佛國政府は戦前から既に此郊外の小住宅、安住宅に向つて低利資金を貸出したり、地租や窓税を免除したりして奨勵して居ました。就中農民住宅に對しては衛生設備の一定標準を定め其條件を具備するものには低利資金を貸出すは勿論、建築地を無代又は半値で提供する等の便宜を計つて居たのであります。今度大戰が終ると、長く戦地に居て野外の生活に慣れた連中が歸つて來て、郊外の生活野外の小住宅を好む傾向が一層増して來たのであります。其所へ持つて來て政府は下層級の住宅不足生活難を救ふ爲めに、法律で室料や家賃に制限を附し、嚴重に之れを勵行し始めたのであります。其の結果家作を持つて居ても、家賃の安いので利益にならず、資本家で家作のやうなものに投資するものが更になくなつて來たのであります。それが爲め住宅不足は益々甚だしく成つたのである。故に大戰後は政府も住宅補充殊に郊外安小住宅の建設に向つて一層の保護を與へて居るのである。

政府の保護は實に至れり盡せりではあるが、民間の方の自發的施設も一つ見たいと存じまして、ロッスマチャイルド家の勞働者生活改善財團で經營して居る巴里の安共同

住宅を見て参りました。五ヶ所ある中のブラーダ街に在るのを見たのであります。此處は數棟の三四階の建物から成り、貸間の數が二百、住居者が約千名でありました。室料は心持の良い三室に臺所附きで一ヶ年百三十圓位で、室借人は何れも勞働者ばかりであります。中には室の一つを仕事場に當て勞働して居たのも見受けました。勞働者ではあるが一見頗る上品な人ばかりで、案内の差配も借家人に對して極めて丁寧で、お互に禮節を重んじて居る風が見えました。建物内には托兒所や、小學兒童放課後の世話をする學校もありました。共同の診療所、共同葬儀室、電氣應用の共同洗濯所等もありました。放課後の小學兒童の爲めの學校には、料理の實習室や音樂練習の爲めのピアノが一臺ありました。住宅不足の折柄安い家賃で居心地のよい幸福な生活が出来るので、空室と云ふものは一つもありませんでした。室借人の希望者が多いので委員があつて希望者中から選擇すると云ふ事でした。尙他の四ヶ所の中には室を四百五十も有するのがあります。

それから今一ヶ所私はセイヌ縣で經營して居る、巴里の北二里の處にあるジャンピリエイの安位宅地區を見て参りました。當時尙工事中でまだ完成しては居りませんでしたが、既に借家人の住んで居る家も少くありませんでした。縣が政府から低利資金を借出して造つたもので、大抵二戸建、三戸建、時に六戸建のものもありました。一戸毎に四五十坪の庭園附きの二階家で、階上に寢室二つ階下に居間、食堂、臺所の五室で一年の家賃大概二百圓位のものでした。地區の中央に公會堂もあり、百五十坪の大講堂、會議室、圖書室等が出来て居た。公會堂の前の廣場に面した處に消費組合の賣店がありました。尙セイヌ縣の施設に係かる此種の郊外住宅區は此他にも二三ヶ所あります。佛蘭西には尙政府の小住宅低利資金や、小住宅に對する種々の特權や、人民が節約貯蓄の精神に富んで居ること等に基いて安住宅會社組合が七百近く、不動産抵當銀行が百五十位もあります。そして専ら安價な小住宅の建設普及に貢献して居るのであります。

獨り住宅の問題ばかりでなく、食物衣類其の他の日常生活の必需品を安價に供給するとか、或は勞働者の疾病傷害の保險、貯蓄銀行、共濟組合、失業者の救濟、養老年

金等防貧救護保護の制度、下層級勞働階級の生活の改善向上を目的として居る社會政策的の施設が徹底的に行はれ、流石國が古いだけあって、それが如何にもよく普及して居るには感心しました。佛蘭西ばかりでなく、一體に歐羅巴の生活改善は中流階級以上には問題とすべきものが割合に少なく、寧ろ専ら國民の大多數を占めて居る下層級人民の上に關係して居ります。即ち彼等が生活状態を改善向上する事に外なりません。彼等に衛生的住宅や、安價な衣食を供給して物質的にも精神的にも其の生活を向上し、充實せしめることにあります。故に歐羅巴の生活改善は主として國家及び自治體並其の他の組合等の事業として、社會政策的施設に依る事になつて居ります。この點が日本の從來の生活改善運動とは大に其の趣を異にして居る處であります。日本では社會政策的施設も必要ではありませんが、それより寧ろ國民各箇の覺醒を促がす事の方が急務であります。それは人民に科學思想が乏しかつたり、時代に不相應な古來の惡習慣が残つて居て、社會の各階級を通して就中中流及上流の比較的餘裕のある階級の生活上に非常な無駄があり、不合理な事が多くて改善の餘地が甚だ尠くないからで

ります。故に日本の生活改善は各個人の反省を促がし、其の生活様式を改めしむることを主眼としなければなりません。併しながら日本の社會も近來貧富の懸隔が益甚だしく、下層級人民の生活を頗る困難ならしめて參りましたので、漸く社會政策的施設に依らなければならぬ情勢に進みつゝあるのであります。私は此意味に於て我が社會局が近頃非常な御活動で、新しい計畫を連發的に御發表になり、國民多數の福利増進生活向上に關する種々な施設を爲さるのを見て、大いに意を強う致して居る様な次第であります。

佛蘭西に於きましては社會政策的施設が至れり盡せりであり、政府や社會の保護が十分行き届いて居るに拘らず、人民の方では必ずしも之れに依頼したり満足したりして居ない風があります。寧ろ自ら進んで自力で以て各人の生活問題、殊に老後の事を解決せんとする風のあるのは大に注目すべき點だと思ひます。

▲佛國人の家政理想

この點は佛蘭西人の國民性とも見做すべきもので、決して今に始まつたことではな

いが、實に見上げたものだと思ひます。一體に佛蘭西の人は用心深く、老後のことを痛く心配する様であります。此の一事は何の國民も遠く及ばぬ點であります。佛國では男の兒にも女の兒にも親の遺産を均等に分けることに法律で定められて居る。故に娘さんなどでも親の遺産が少く持參金が少ないと嫁に貰ひ手が無い。よい年をして居ても持參金がなければ嫁くことが出来ない。その惨じめさを親として傍で見て居ることが非常に苦しい。それに頗る理智に富んだ用心深い國民ですから、老後の生活と云ふことを深く考へる。隨て若い頃から平素の心懸けが餘程宜しいのであります。私は逢ふ人毎に此點に關する平素の用意を訊いて見たのであります。

勞働階級、筋肉勞働をやつて居る人達ばかりでなく、小商人、安月給取り、さう云ふ階級の人達を中心にして調べて見たのであります。さう云ふ人達の理想として居る所は老後の生活の安全、殊に自分所有の家屋敷で愉快に老後を楽しみ暮りたいと云ふことが彼等の理想であるらしい。故に四十歳前後になると、節約貯蓄した金で以て先づ郊外に百坪か百五十坪の土地を買取るのである。日本とは異つて郊外の土地が

一般に廉いから其の位の土地は容易く手に入る。土地を買ふと早速日曜には辨當持參で出掛けて往つて周圍に垣を造つて、野菜を栽培したり、果樹を植えたりします。畑の片隅に小さい農具小舎を造て置いて、農具其の他の必要品を仕舞つて置いて、日曜には細君も子供も連れて往つて終日其處で楽しく暮すのであります。ですから夕方になると云ふと巴里の停車場は、大きな袋に馬鈴薯を一杯入れて背負て居る亭主や、野菜の大束を抱へて居る細君や、花束を携へて居る娘さんなど、農園戻りの家族連で大賑はしである。之れは何所の停車場へ行つても必ず見受ける光景であります。巴里は花の都とばかり思つて居つたけれども、巴里位農業に郊外へ出掛ける人達の多い都はない。故に巴里には農具種子物毬根類雞の雛兎の仔杯を賣つて居る店が極めて多いのであります。

私はどれ位巴里の人があゝ云ふ農園を經營して居るか、調べて見たいと思ひました。市役所で訊て見た所がよく分からねと云ふ事でありました。それで何所か的確な數字を得たいと思つて居たのであります。處が偶々ハンブルグへ來ると、此市で

も亦郊外のこの農圃を小農園又は植民地と稱へて盛に耕作して居るのである。何故植民地と云ふかと申すと、郊外の市有地を希望に應じて會へ貸すのである。會は普通二十人から百五十人位までの有志者から出來て居る。會が借受けるその周圍に垣を繞らし、小徑を設け畑を區分して、二三十人なり百五十人なりに分けるのである。その垣で圍はれた一區劃が即ち殖民地である。ハンブルグ市を繞つて數多の小農園がある。それで私はハンブルグの市役所へ行つた時に、公園課の技師長にこの市の周圍にあんなに澤山の殖民地があつて市民が出て盛に農業をやつて居るが、一體どれ位地面を貸して居るのか、又其の貸附方は何んな風にして居るか訊ねて見たのであります。すると其技師長の申さるゝには、當市ではほんの申譯的ではあるが借地人から僅かばかりの地料を取つて貸して居る。縦令市有地であつても、之れを無料で貸すと云ふことはどうも弊害があつていかぬ。佛國の里昂では彼の有名なエリオ氏が市長をやつて居られるだけあつて、労働者農園と稱へて一ヶ年約五百法に値する位の野菜の收穫が出来る畑を、子澤山の労働者二千家族に無料で貸して居るのである。併しながら

我が獨逸では労働者農園の名稱からして既に感心出來ないが、全く無料で貸すことも亦弊害があると認めて居る。故に獨逸では佛蘭西でやつて居るやうなへまなことはしないのだと云ふ事でした。そしてハンブルグ市が農園として市民に貸し與へて居る市有地は、戦争前には僅に一百町歩であつたが、戦後には之れを二千六百町歩に増した。種々の理由からして尙ハンブルグ市では小農園の價値を認めて賣物の土地が出る毎に、之れを買収して今日は遂にあれだけの面積に達したのである。それを今日は五萬の家族に分けて貸して居るのです。一家族平均五人とすると、二十五萬の市民は本職の傍ら餘暇を利用して小農園を耕して居るのである。ハンブルグの人口は約一百万だから、全市民の約四分の一だけは農業をして居る譯であります。此數字から推して巴里でも大體同様だらうと思ひます。これは恐らく歐羅巴の各大都市何れも大體皆そんな振り合だらうと思ひます。して見ると歐羅巴の都人士は皆農業を好んでやつて居るものと見て差支ありません。之れは日本の都會人の恐らく思ひも依らぬことだらうと思ひます。一體何處の都會人も其の元を洗へば二三代前は大概農夫であつたのが、

都會地へ出て来て都人士に成つたのであります。故に誰でも一通りの農業は出来る筈です。労働者農園小農園は經濟上からも、市民の保健衛生上からも、或は社會上、政治上にも重大の意義があると申して居ります。

少し横道へそれましたが、小農園が如何に普及して居るかが之れで想像出来る事と思ひます。さう云ふやうな風で、佛蘭西の都人士殊に巴里市の労働階級の人は、四十歳恰好になると競つて郊外で地面を買ひ取て農業を始めます。其の内少し貯金が出来ると、今度は其の土地へ小さい住家を建てるのであります。住ひ家と云つても日本の金で二千圓から三千圓まで位のが最も多數であります。大抵二階建になつて居て時には二戸建にするか、或は階上と階下を出入口を別々にして、其の一方を他人に貸して居る事もあります。この場合には四五千圓の建築費に上る様です。巴里滞在中一日私は住宅展覽會を見に行つたことがあります。其住宅展覽會に出品されて居る住宅を見ると、皆唯今私の申上げた位の恰好の家ばかりで、それを見に行つて居る人達が皆四十恰好の夫婦者ばかりであります。夫婦で間取構造價格などを調べた上で、出品し

て居る建築會社に注文するのであります。出品者は此の間取り構造のものならば、何軒でもこの價格で御注文に應じますと書いて貼り出して居るのであります。斯う云ふ譯でありますから、同じ展覽會でも誠に意味があるのであります。一本葉書を出して注文をすれば、直ぐに自分の有つて居る地面に住ひ家を造つて呉れるのであります。契約の際五百圓なり、七百圓なり拂込んで置けば、後は毎月家賃よりも少し多い位のもの拂つて居れば、七年か八年後には自分の家になつて了ふのであります。

佛蘭西の人は斯の如くして自分の住宅を造つて仕舞ひます。そして四五十歳位になると自分の住宅から都會の工場なり、商店なり、役所なりへ通ひ勤めをする様になることが、彼等の理想らしいのであります。これは都會の商工業労働者はかりでない。田舎の農業労働者小作人にしても、同様であります。何とかして自作農になり、自分の住宅に住む様になることが理想らしいのであります。殊に農村住宅の改良と云ふことには既に申述べた通り、政府でも非常に力を入れて助けて居るから、農村に於ても同様な傾向がある。此等の結果でありませう、近頃佛國では自分の土地家屋の所有者

が非常に殖えて来た。佛國では之を小ブルジョアと申して居りますが、四千萬人に足らぬ國民中、八百萬人以上は土地家屋の所有者である。即ち人口の五分の一以上が資本家の譯である。英吉利などでは貧富の懸隔が大で、土地家屋の所有者は全人口の四分の一に過ぎないのであります。故に佛蘭西は此一點だけでも其の社會組織に堅實味がある。是ならば馬鹿なストライキなど起り様があるまいと私は感じたのであります。

我邦でも近來貧富の懸隔が益大きくなつて来たのでありますから、佛蘭西のやうに小さな資本家を造り、自作農を多くすることに大に努めたいと思ひます。北米合衆國でも近頃會社の使用人労働者にして、其の社の株主に成るものが段々殖えて行く、其の結果、小さい株主の數が増し、株主全體の數が非常な勢で増加すると云ふ事である。此事實を見ても亞米利加に小資本家の益々殖えてゆく傾向歴然たるものがある。それに亞米利加では近來労働貯蓄銀行と云ふものが出来て、労働者の貯金額は莫大な額に達して居るさうです。隨て使用人労働者で小住宅の所有者の數が増加することも

當然の結果である。これは米國の景氣の好いことも勿論關係して居るけれども、斯う云ふ傾向は誠に羨ましいことでもあります。殊に佛蘭西のあの傾向は大に參考すべきものであるまいかと思つたのであります。

巴里の郊外に労働者、小商人、安月給取の小住宅の近來殖えた事は實に驚くべきものがあります。何の方面へ汽車で出掛けても三十分や四十分の間は、其等の一戸建の小さな家で埋められて居ります。木造のものもあれば、石造、煉瓦造のもの、練土で造つたもの杯種々あります。十數年以前私が歐羅巴へ行つた時には、斯んなことは見なかつた様に覺えて居ります。全く近年に於ける非常な變化であります。兎に角斯う云ふ様に大都市の郊外に自分の家屋敷を持つて、其處から通勤をして老後を楽しみ暮らすことが彼等仲間多數の理想らしいのであります。而してこの標的に向つて絶えず努力し日々儉約をして居るのであります。故に同じ儉約をして勤勉するにしてもやり易くはないかと思ふのであります。そして彼等がこの目的に向て常に勇往邁進し、質素儉約な生活を續けて居ることに就ては、一つには婦人の内助が大いに與つて力あるこ

とを私は発見致したのであります。今回巴里を中心にして、佛蘭西の彼方此方を旅行して居た六七ヶ月に於ける私の調査研究の中心問題は、全くこの佛蘭西の婦人の内助の一點にあつたのであります。故に此點を最後に少しばかり御話をして此講演を終りたいと思ひます。

▲家計上手の佛蘭西婦人

一體に佛蘭西の婦人は常識が発達し知識が豊富である。この事は英吉利や、亞米利加の人の書いた書物にも皆さう言つて居る。世界各國の婦人中で平均して最も常識が発達し、理智に長じて居るのであります。佛蘭西の婦人は此點で確かに一頭地を抜いて居る。随て佛婦人の家政振りには、事毎にこの理智が現はれて居るのであります。私は何時もさう感じたのであります。それから今一つ佛蘭西の婦人は餘程社交好きで、御轉婆の様に思つて居りましたが、實はさうでない。巴里杯で見るあの若飾つた婦人は、多く外國の婦人で遊覽に來て居るのです。巴里の華美な派手な生活をして居るのは、實は英米其の他の外國人で佛蘭西人は割合に少い。佛蘭西固有の人の生活は

さうでない。寧ろ極めて地味な質素なものであります。それからまた佛蘭西の婦人は寧ろ家庭的であります。英吉利の女の方が政治運動などに狂奔して餘程御轉婆である。之れに反し佛蘭西の婦人は家庭を城廓とし、家庭婦人を以て自ら満足して居るのである。さうして其の上に非常に理智に長じ、常識に富んで居るのでありますから、此佛蘭西の婦人の家政振りと云ふものには大に見る所があらねばならぬ。

我が内務省でも豫て勤儉奨励の第一條件として、豫算生活と云ふことに非常に重きを置き、専ら之れを鼓吹して居られるのでありますが、私も亦佛蘭西の家政の模様を調査するに際し、勿論第一に其の家計豫算を何う云ふ風にして居るだらうかと云ふことに着目したのであります。私は佛蘭西に到着するなり、宿の主婦でも誰でも逢ふ婦人毎に第一に之れを訊ねたのであります。處が其の答は人毎に皆一樣でない。或る人達は佛蘭西では一般に収入の半分は必ず貯金する、そして収入の半分で暮して行くのであると言ふ。又或る文學の素養のある未亡人は、最も公平な所は月收の三分の一は貯蓄をする。例へば百五十圓の月給取とするならば、其の三分の一の五十圓は天引き

貯金をする。そして後の五十圓は之れを細君に渡して臺所の切盛をやつて貰ふ。そして残りの五十圓は主人が持つて居つて、自分の小使なり家賃なり、税金なり子供の授業料なりに當てるのが普通である。

私はリオンの三菱商事會社支店に立寄つた時にも、亦此話を持ち出し、あなたの御店には女學校を出たやうな娘さんを澤山使つて居られる様ですが、一體幾ら位やつて居るのか、そして彼女達はそれで何う暮して居るのであるかと訊いて見たのです。其答に此の店では大抵八百法から千法やつて居るのであります。八百法は其の當時日本の八十圓に當りました。其の八十圓の月給を貰ふと、三十圓はお母さんへ部屋代と食費とに拂ふ。二十圓でお化粧や着物を買ひ、残りの三十圓は必ず貯金すると云ふ事でありました。して見ると八分の三ですから、丁度三分の一以上矢張貯金をして居ると云ふことが判かる。又或る大學教授の家計の決算を書物で見たのでありますが、此人は月收の一割と少しばかり貯金をすることにして居る。教育家とか官吏とか云ふ人達は寧ろ名譽や地位の方で収入の方は割が悪いのですが、それでも一割や一割五分は必

ず貯金する習慣になつて居る。此等の結果として、結局佛蘭西には年々戦前でも戦後の今日でも、約二十億圓の金が貯金になつて残るのであります。

大戦前の佛蘭西の収入は二百五十億乃至二百八十億法で、其の五分の一が貯金されるところとして、五十億法即ち日本の二十億圓に當るのであります。然らば大戦後の今日に於て日本の二十億圓と云ふ金が何處から來るかと申しますと、佛國近年の外國貿易の輸出入關係はと見るに、約一億圓の輸出超過になつて居て、大體均衡を保つて居る。それに植民地からも相當金が入つて來るばかりでなく、船舶からの収入も少くないのである。殊に佛蘭西には一百万人からの遊覽外國人が常に滞在して居るのであります。其等の人の落して行く金が仲々少くない。五六月頃の最も繁昌する季節には、巴里の町には毎日平均一千万法位の金が落ちると云ふ事でありませう。日々概算百萬圓ですから、一月に三億圓になるのであります。之れを一年に積算すると相當な金になるのであります。處が佛蘭西人は其の儲けた金で舶來の贅澤品を買つて仕舞ふ様な事を決してしないのであります。必ずそれを貯蓄するのであります。それだから佛蘭西に金の

残るのは當然であらうと思ふ。即ち大戦後一千九百二十三年頃の佛蘭西の一年間の収入は大約一千四百億法に達し、其の五分の一が貯金されるところとして二百五十億法、之れを邦貨に換算すれば則ち大約二十億圓に成るのであります。

兎に角佛國の家計は既に申上げた様な豫算の下に、主人から受取つた其の五十圓なり百圓なりで、細君達が如何に臺所の切り盛りをやつて行くかと云ふことが、私の最も興味を感じた研究問題でありました。私は其の實際の模様を是非知りたうと思つて、或は小學校へ行つて家事科教授の模様を見せて貰つたり、或は各階級の家庭を訪ねて種々の話を聴き、家計簿までも見せて貰つたり、或はマーケットへ行つて見たり、種々な所に行つて實地を調べて見たのであります。其の結果佛蘭西婦人の家政振りに就て種々と感服した點もありますが、其の一つは佛蘭西の婦人は金の使ひ方が如何にも上手で、殊に買物にかけては皆名人であることであります。故に奥さん方が三人寄ると必ず買物の話を始める。何所其所に行くか安い物が買へるとか、見切物を賣つて居るとか云ふ様な事を話し合ふ。そして金の價を十分に發揮し、出来るだけ有効

に使ふことに努める。隨て婦人が品物を買ふのに決して虚榮や感情を交じへない。何處までも冷靜である。日本の婦人になるとさうでない。御用聞きなどが何度も來ると、さまりが悪いでも思ふものか、三度に一度は必要もないものまでも持つて來る様に言ひ附けるのである。又店へ往つた場合には、往々此所の番頭は横柄だから此店では買はないで、少々高價でも愛嬌のよいあの店へ往くと云ふ風である。日本の婦人は兎角感情に支配され易い傾がある。其所は佛蘭西の婦人の勝れた處で、理智が發達して居るから物を買ふにも少しも感情を加へない。隨て必要の無いものは決して買はぬ。日本では兎角種々の感情や、虚榮や、見榮坊に捉へられて高い物を買はされるけれども、佛蘭西の女にはそんなことは爪の垢程もないのであります。此點は日本婦人の是非佛蘭西の女に學ぶべき所だと思ひます。

それから又佛蘭西の女は品物の鑑識に大に長じて居るのであります。是は學校で教へるのかと云ふと必ずしもさうばかりではない。私の聽いた所では寧ろ家庭で親達が教へるさうであります。佛蘭西では無論現金買でありますから、細君方が直接店に行

つて、林檎でも卵でも何んでも手に取つて其の品質をよく見分けて買取るのであります。日本から彼地へ往つて居られる若い外交官の夫人達も、慣れぬ初めの間は多少氣にかゝる様ですが、慣れて終へば平氣です。彼地の婦人の通り卵や林檎を手に取つて斯うやつて比べて見て買つて歸るのであります。日本で若しそんなことをやらうものなら大變です。忽ち大不評判に成ります。御用聞きなどが配達したものを封を解いて調べたり、天秤で計つたりすると餘りよい顔をしない。それで大概の婦人は配達して來た物を碌々見もしないで、其の儘受取て置くこと云ふ極めて御大名式なものである。斯んな事は佛蘭西には決して見る事が出来ません。

それから今一つ佛國の特色とも認むべきことは、殆ど現金買である事であります。隨て小さい流通貨幣の必要が多い。佛蘭西程人口の割合に流通貨幣小貨幣の多い國は他にありません。一厘二厘に當る銅貨もあれば、五厘に相當する白銅がある。紙幣には五法と云ふのがあります。之れは約五十錢に相當します。日本のやうな貧國でも五十錢の紙幣は最早見られません。佛蘭西には斯様に澤山の貨幣が流通して居るので、

何も彼も現金買であります。そして細君達は毎月の収入の内から五十圓なり百圓なりを受取つて、常に現金で持つて居て買物をして居りますから、決して豫算超過と云ふことはない。佛蘭西では現金買は豫算超過を防ぐ爲めのブレイキだと申して居ります。この現金買と云ふブレイキさへ掛けて置けば決して脱線しないと云つて居る。

それから今一つ佛蘭西婦人に感心な事は、家計簿によく記入する事であります。何んな家庭を訪ねても主婦は必ず家計簿を備へて置いて、其の收支を詳細に書き込んで居る。故に大きな百貨店へ入つて何時も眼に着くのは、文具や用紙の部に家計簿が山程積まれて居る事である。さうして其の家計簿が如何にもよく賣れるには驚く。私は今回参考資料にもと思つて、附け古しの家計簿を彼地此地で貰ひ集めて持つて歸つたのであります。其の中には某子爵夫人が親ら記入されたものもあります。記帳は單に主婦ばかりではない、女中さんまでが主婦から預かつた金を持つて買物に出掛ける。斯んな小さな手帳を持つて居て一々それへ記入するのである。そして夕飯後それを計算し小さな紙片に書き附けた計算書に、残つた釣錢を添へて主婦へ差出します。

主婦はそれを受取つてよく調べて、帳面に付け終らなければ決して寝ませぬ。此の通り日々帳面に記けてさへ居れば大體間違はないと思ひます。佛蘭西の家庭では此の通り常に現金買でやつて居るのですから、何時も現金が財布にあるから残高が容易く判かる。そして残高が少くなり使ひ過ぎたと見ると、早速財布の紐を締める。例へば今月は親類のものを集めて御飯を御馳走する筈であつたが、來月へ延ばさうと云ふやうな風に、遣り繰りをして無理の出來ぬ様にして行きます。故に月末になつて不足を生じたり、或は他人から一時借りをしなければならぬと云ふやうなことは決してないのであります。すべて斯う云ふやうな調子で、金の使ひ方が頗る巧いので、決して不用物を買うなどと云ふ事は決してありません。

今朝の何かの新聞に某音楽家の歸朝談が出て居て、其の一節に佛蘭西の婦人は、着物を一着しか持つて居らぬと云ふやうなことがありましたが、實にさうです。實は私は巴里へ着いた初めから、附近の八百屋のお神さんから職人の娘さんまでが、何うしてあんな粹な服装をして居ることが出来るのか疑問にして居つたのであります。それ

で宿の差配をして居る乗合自動車の運轉手のお神さんに、それを訊いて見たのであります。一體どうしてあゝ云ふ粹な百萬長者の様な風をして出て行くことが出来るのかと訊いて見ると、決してそんなに贅澤をしたり、幾着もの衣類を持つて居る譯ではない。内情を言ふと實は誰れも一着しか持つて居らぬのである。さる代り新調の際比較的地質の良い確つかりしたものを造つて置き、それを幾度も染め換へ模様替へをして着て居ると云ふ事であります。

御承知の通り佛蘭西と云ふ國は年々流行の變る國であります。私の行つて居りました時には、紅紫色の薔薇紫とでも言ふ様な新しい色が流行つて居りました。類似の色が幾通りもあるから色の見分けが困難である。然るに其の微妙な差を見分けることに於て、佛蘭西の婦人は何の國の婦人よりも優れて居るのである。其の目のよく利くこととは殆ど先天的で、佛蘭西婦人は實に趣味性と鑑識力との點に於て頗る優越して居るのであります。故に今年の流行色は何んなであるか、又衣裳の新流行型が何んなであるかと云ふことを新聞雜誌で讀むなり、或は大衣服店の店頭裝飾で見ると早

速次の季節の準備に着手し、一枚しかない着物を解いて染替にやるのであります。さうして新らしい色合に染つて戻て来ると、今度は新流行の型に模様變へして仕立屋へやるのであります。それが仕立屋から出来上つて来ると僅かな仕立賃と染代で、二百圓も三百圓もする立派な衣裳が一着自分のものに成るのであります。他國人の一寸出来ないやうな事を、佛蘭西の婦人は自分の趣味性と工夫とで容易く成就するのである。

亞米利加人の書いた書物に斯んな事を言つて居る。世界の諸國民中で細君が衣裳にどれだけ金を掛けて居るか、亭主が知らないで居るのは佛蘭西だけだ。畢竟これは佛蘭西の婦人が主人から預かつた僅かの金や、親から貰つた持參金の利子の中からやり繰り算段をして、金の掛からぬ様種々と工夫するからであります。斯くの如くして佛蘭西婦人は毎年の流行に後れない粋な風をして、亭主と一緒に外出しても亭主に耻をかゝせぬのであります。兎に角佛蘭西婦人のこの手腕と、自分の着物は自分で始末を付け、一着で辛抱して居る心掛けとは洵に感心です。日本の婦人が親里の仕送りや

主人に強請して、實際必要もない同じやうな幾着もの着物を貯へて居るのは到底同日の論でない。箆笥の内へ澤山に仕舞込んで居る衣類の中には、一年に一度か二度しか手を通さない様なものも慥にある。又一寸着て出る外出着にしても實際一着で済むべきものを、近所の人達への見榮坊から何時も同じものばかり着て出ると言はれたくない爲めに、幾通りも同じ様なものを備へ附けて置かなければならないのである。

佛蘭西の婦人は理智に長じて居るから斯んな馬鹿馬鹿しい真似はせぬ。そんな虚榮心は少しもない。又近所の人達にしてもよく理解し合つて居て、お互様に一着しか持つて居ないから餘り恥ぢとも思はぬ。併しながら彼の女達は前申す通り趣味が發達し、鑑賞力に長じて居るので、縦へ一着の衣裳にしても時代後れの無粋のものは身に着けぬ。必ず自分の體に合ふ様な身長から頭髪顔の色までに善く調和したものを選んで、何處までも自分の趣味に合つた粹な風をして居る。そして近所の少數の人達よりは世間へ出て幾萬の人に見られて、氣の利いた風をして居ると言はれる事に、寧ろ重きを置いて居るのである。故に若し之れを虚榮と言ひ得べくんば、虚榮かも知れぬが

併しながら日本の女のやうな近所隣りへの狭い虚榮心とは大に其の趣を異にして居ると思ふのであります。試に理智に富んだ佛蘭西の婦人をして日本で暮さしめたならば、必ずや日本婦人式のあんな小さな狭い虚榮心は出すまいと思ひます。

理智に富んだ佛蘭西婦人の遣り口は一體に斯う云ふ風でありますから、決して無駄をしない。飯を饗されたり、お茶に招かりした事もありますが、一寸見ると派手なやうであつて、其の實餘り金は掛けて居ない。實際必要な程度に止めて居るのでありますから、成る程是ならば月收の三分一でも、臺所の切盛りがやつて往けさうだ、或は尙幾らか貯金が出来さうだと思へたのであります。

佛蘭西人は本來貯金の非常に好きな國民で、政府に於ても餘程前から貯金を奨励し、貯蓄銀行の建設普及に努力したのであります。その結果貯金の制度貯蓄銀行の組織に於ては、佛蘭西は慥に世界の先進國だらうと思ふ。隨て小學校からして既に兒童に貯金をやらせる。校長さんは各級で受持教師が生徒から集める御小使ひを節約して餘したものや、勞作で稼ぎ溜めたもの杯を纏めて貯蓄銀行へ預け入れる。佛蘭西で

は毎年七月の末になると賞品授典式と云ふ事が各小學校で行はれる。日本の卒業及修業證書授典式に相當するのである。その際優等生に賞品として美しい書物の外に貯金帳を與へる。貯蓄銀行の通帳に、五十法とか百法とか預入れてあるものを與へるのであります。子供がそれを貰つて歸ると親達は大に喜び、それを土臺に兒童に貯金をさせるのである。女の子はお嫁入りする頃までには之を何千法にするのださうです。世界の何の國で學校の賞品に貯金の通帳を與れる所がありますか。斯くの如くして佛蘭西は小學校時代から貯金の思想を啓發し、その習慣を養ふ事に専ら力を入れて居るのである。

佛蘭西の婦人に感心な事は、婦人と云ふ婦人は必ず貯金箱、貯金壺を持つて居る事である。之れは古い時代からの習慣で、昔は貯金袋でありました。その貯金袋は毛絲の古靴下を綺麗に洗濯修理して、それを寢室か自分の居室の隅などに他人に知られぬ様に吊して置いて、それへ二十法の金貨を盛に抛り込んだものであります。それだから佛蘭西では婦人の貯金袋のことをバデレン即ち毛絲の靴下と云つて居る。今日は金

貨と云ふものは一枚も見ませんから、金貨の代りに百法千法の紙幣を貯へる。隨て貯金袋は貯金箱貯金壺に變つて來ました。この壺や箱を押し入れの天井の上へ匿したり、寢臺の下へ押込んだりして置くのであります。

この貯金箱に就いて面白い話がある。私の參つて居た巴里の萬國工藝裝飾博覽會開會中の事です。日本の賣店は何れも品物の正札が高價であつた。巴里の新聞に高い物が買ひたかつたら、日本の賣店へ行けと云ふやうな惡口を書かれて居ました位で、賣れゆきが甚だよくなかつた。處が其の賣店に列べてあつた静岡塗りの安物の貯金箱が、二三十開店すると忽ちに賣れたさうです。博覽會の事務所で、私が貯金袋の話をして居ると、それで思ひ當ると事務員の一人が右の話をされました。この一事でも佛國に貯金箱の普及して居る事が想像されるではありませんか。

私の知人で數年前佛蘭西の田舎に下宿して居られた方があります。日本から學資の送金の後れた様な場合には、其の家の主婦に一寸四五百法貸して呉れいと言ふと、早速何所からか陶器の貯金壺を出して來て、其の内から紙幣を出して貸して呉れたと話

された事がありました。丁度日本でも田舎へ往くと、米や繭を賣つて溜めた金を佛壇の引出しに仕舞ひ込んで置くのと全様であります。處がそれが文明國の佛國であるだけに面白い。佛國では屢一人もの、婆さんの家へ泥棒が入つて、金を奪つて往つたと云ふ様な記事が新聞に出る。それが何時でも五万法とか、十万法とか云ふ大金が普通ださうです。この通り佛蘭西と云ふ國は實に舊式な國で、現金を常に貯藏して居る風がある、之れは一つは昔から屢外患があつたり、革命が突發したりして、現金を體に附けて逃げなければならぬ様な事變が多かつた爲で有りませう。兎に角佛蘭西には昔から勤儉節約の美風と、現金で貯へて居る風習があり、殊に婦人の貯金袋は一家の經濟一國の財政に屢々大に役立つて居るのであります。

佛蘭西の歴史でよく御承知かも知りませぬが、彼の千八百七十年の普佛戰爭の際には、獨軍の爲め大敗北をしてベルサイユで城下の盟を爲し、佛蘭西は五十億金貨法の償金を課されたのであります。そして一定の期限を附して一文残らず此償金を拂へ、それまでは一步も佛蘭西から獨逸の兵隊を退かぬと云ふ權幕であつた。獨逸の積

りでは是れだけ取つて置いたら、佛蘭西は當分頭を揚げる事は出来なからうと云ふことであつた。其の際に於ける獨逸兵の亂暴は驚くべきもので、財寶は勿論片つ端から巻き上げる、婦女を辱かしめる、巴里に一人の處女なしとまで言はれた程非常に苦しめられたのである。それで佛蘭西政府は何とかして一日も早く償金を拂つて、獨逸の兵隊を國境外に追拂ひたいと云ふので、全國津々浦々まで盛に宣傳して、償金を拂ふ爲めの愛國公債を募集したのです。處が全佛蘭西の婦人は獨逸兵の此暴狀を見聞して非常に憤慨し、命から二番目位に大事にして居た貯金袋の底を拂つて競つて政府の公債に應じたので、忽ち五十億金貨法と云ふ金が大藏省に集つて來たのであります。その御蔭で佛蘭西は僅かに五ヶ月で償金全部の支拂を了ることが出來ました、そしてそれは實に約束した期限よりは十八ヶ月早かつたと云ふことであります。斯くて約束より十八月前に獨逸兵を國外に追つ拂ふことが出來たのであります。

佛蘭西は斯くの如くして一八七二年に城下の盟をしてからは、舉國一致して非常な儉約をし、勤勉を續けて専ら國力の回復を計つたのである。その結果一八七八年には

巴里に第一回の萬國博覽會を開いて世界の各國から人を集め、日本からも平山男爵などが出掛けられたのであります。佛蘭西は之れに依つて産業の狀況を示し、復舊の如何にも早かつたことを世界に誇つたのであります。其の際博覽會に集つて來た世界の人は、其の盛況に一驚を喫したのであります。私は一年振りに日本に歸つて地震後の復舊の甚だ遅々たるのを見て、密に佛國民に耻ぢて居る次第であります。殊に佛蘭西のあの戦争は國運を賭して戦つたもので、其の傷は仲々日本の地震位の比ではなかつたのであります。之れには佛蘭西の婦人の勤勉節約の結晶たる婦人のバテレンが、大に與つて力あること、信じます。それで佛蘭西では佛蘭西の國家を維持するものは軍人の劍に非ずして、婦人のバテレンにあると云ふことが昔から言ひ傳へられて居るさうです。

それですから佛蘭西の婦人が家庭並に社會で尊敬され、勢力のあることは非常なものであります。エレベーターの内に婦人が一人でも居ると、男子は脱帽をしなければならぬ。私は他人から注意されて、周章して、帽子を取つた事も屢々でした。今一つ佛

蘭西の婦人が尊敬され勢力のある理由は、其の家業に對して常に重要な役目をして居るからであります。佛蘭西の女は結婚をすると一般に亭主の仕事に参加し、商人ならば帳場に座つて帳面を記けるとか、或は品物の仕入れに行くとか、又學者の家ならば、主人の研究に參與して一緒に働き之れを助けると云ふ風であります。隨て結婚した婦人は主人と一緒に或は其の代理として、男の社會へも出入して盛に活動するのであります。亞米利加の婦人が娘の時代には非常に自由であるけれども一たび結婚をすると、案外不自由になると反對に、佛蘭西の女は結婚前に嚴しい監督の下にあるに拘らず、結婚後は頗る自由になるのであります。そして亭主と同じ仕事に關係し、交際社會にも盛に出るので、佛蘭西婦人の常識は益發達して止まぬのであります。故に佛蘭西の婦人の持てるのは實際實力があり、昔から國家社會並に家庭に大に貢獻して居るからである。科學、文藝、美術、軍事、政治の様な方面にも多數女の偉人が出て、國家社會に大に貢獻して居るのである。實際功績があつて持て、居るのである。亞米利加で婦人の持てるのとは、大に其の趣を異にして居る。米國は殖民地だから自

然婦人の数が少なかつたから、それで婦人が持て、遂に今日の風をなしたものであると思ふ。

佛蘭西婦人は單に儉約一方の消極主義ばかりでなく、同時にまた積極的によく働くのであります。極めて勤勉であります。私は今度初めて歐羅巴の土地を踏まれた方と一時同宿したのですが、其の人の第一印象が頗る面白いと思ひます。巴里へ到着して間もない事である。其の方は三階の窓から向側の家の女中が毎朝頗る輕快な身仕度で、室内の掃除を始めて如何にもよく働く、そして一日の仕事を終へて夕方外出する時は、小綺麗なさつぱりした服装で出て行く、其の有様を見て深く感心され、佛蘭西の婦人は實に感心だ、毎朝のあの掃除の際の身仕度は、日本の吾々の家の女中などが一年に一度の煤掃きか何んかでなければ決してしない仕度である。佛蘭西の婦人は、身なり構はず實によく働くものであると稱讚された。又其の方と、一緒に料理屋へ食事に行く、女の給仕人が眞つ黒な着物に白いエプロンを掛けて、足早に歩いて男に負けず働いて居る様子を見ては、日本のカフェーなどの女給のだからして居る比で

ない。實に能く働くと云ふ調子で、到る處で佛蘭西の人の勤勉振りを感心して居られた。實にその通りで私も同感です。

公園などに行つて見て居ても、婦人の店員などが晝の休みに、長椅子で盛に編物をやつて居るのもあれば、又佛蘭西刺繡を熱心にやつて居るものもある。斯う云ふ断片的時間利用の内職の結果か集つて、貿易品として亞米利加邊へ盛に輸出されるさうです。又巴里市の小公園へは毎日子供を連れて何萬人と云ふ婦人が出掛けるのでありますが、乳兒は乳母車の内に、幼兒は木蔭や芝生で遊ばして置いて、携へて來た椅子に腰掛けて熱心に裁縫刺繡編物などをやつて居る。佛蘭西婦人は實に手藝好きで又上手である。そして少しの時間も無駄にはせぬ。斯う云ふ勤勉振りが佛國を富ます基になつて居るのである。

▲各國民の長處短處

併しながら佛蘭西人は先刻來申上げた通り、如何にも消極的であり、保守的である。本來佛蘭西と云ふ國は、歐羅巴で露國に次いで天産の豊かな天恵に富んだ國で、

且つ土地の廣い割合に人口の稀薄な國である。故に外國へ出稼ぎしたり、移殖民する必要は殆どない。隨て一年を通して海外に出掛けるのは高々四千人か五千人である。故に佛蘭西人は世界を知らぬこと甚だしい。この點は移民國の獨逸や英吉利と大に異なる所であります。獨逸や英國では人口が多過ぎるので、盛に海外に雄飛し世界を股にかけて歩かなければならぬ。隨て進取的の精神に富んで居る。佛蘭西の人が世界を理解せず如何にも消極的であることの二三の事例を擧げて見ると、既に述べた様に彼等は物を買ふには必ず現金拂で、小切手を切ることが少い。又子供の教育にしても高等小學校か低度の實業學校を了へると、直ぐに店や工場へ出して實業に従事させる。日本の様に借金までして大學へやると云ふやうな事は絶対にない。そんな事は佛蘭西では狂氣の沙汰だとされて居ます。

すべてのやり方が何事も消極的で保守的である。ですから戦前は大きな商賣は獨逸人杯に占有され、一國の商權を外人に握られて居た。又大戦後は英米人の爲め同様の目に逢つて居て、佛蘭西の人は小さなことばかりして居る。佛蘭西は今度の戦争でア

ルサスローレンを奪還し、鐵產出國として世界の第三位に昇つた。又工業の原動力たる石炭も獨逸のルール地方から盛に産出するのを、比較的廉價に買取る便宜を得た。故に戦後の佛國は是非工業國たらざるべからずと云つて居る。併しこの佛國の大抱負が、果して實現され得るや否や甚だ疑問である。あの消極的で世界の知識に乏しい佛蘭西國民が、果して商工業の上で勢力を得ることが出来るだらうかは、識者の間の大なる疑問とされて居る。佛國の實業界には商科大學の出身者が甚だ少いと云ふ事であり、帳簿の如きも新式の簿記法を用ひて居る商店が甚だ少いと云ふ事である。現に諸官署を訪ねても局長級の人で、英語や獨逸語の話せる人は極めて稀である。リセイでは近世外國語を教へて居るから、學生時代には相當外國語を學んだには相違あるまいが、餘り外國へ出ぬので少しも實地の役に立たぬ。私は佛蘭西語は速成で甚だ未熟の爲めに、今回諸官省訪問の際は洵に不都合を感じました。佛國の官吏が外國語の出來ぬ爲め己むを得ず私の不完全な佛語で少からず彼等を惱まして氣の毒に存じました然るに獨逸や英吉利では斯んな事は殆どないのである。大概外國語をよく話す。佛蘭

西國民のやり方が如何に消極的であり、保守的であるかが略ぼ想像出來ませう。

私の考では日本の國情としては、寧ろ英吉利や獨逸の海外發展の精神に富み、積極的な所を真似たいのであります。併しながら之れと同時に佛蘭西人の消極的ではあるが、如何にも堅實で勤儉質素なやり方をも學びたいのであります。今後日本の教化事業などに關係して第一線に立つて働られる方々は、是非此點に御注意願ひたい。英獨佛各國夫れ夫れの長處を採て、國民の指導に任せられたい。殊に將來婦人を指導するには、私は是非佛蘭西の婦人の態度を學ばしめたいと思ふのであります。故に今少し詳細に佛國の婦人を調査し、印刷物なり其他の資料なりで研究して、日本婦人教化の實地に應用して見たいと思ひます。何とかして今少し日本の婦人の虛榮心を打破し、彼等を覺醒しなければ何時迄經つても日本は貧乏國で居ねばならぬと思ふ。佛蘭西婦人のあのやり方でなければ、金と云ふものは決して残るものでない。日本の男子が幾ら働いた所で、婦人が從來の様な無計畫無豫算な盲滅法の家政振りでは仕方がない。婦人の働きて今少し生産と消費との間に差額を造り、剩餘を生ずる様にならな

ければ、日本は何時迄経つても相變らず貧乏國たる事を免れぬと思ひなます。今回私
は佛蘭西の實情を見て痛切に此事を感じたのであります。

甚だ纏りのない事を申上げて恐縮に堪へません。實は印刷物杯を可なり澤山に持つ
て歸つたのでありますけれども、歸朝早々差掛かつた忙しい用事の爲めにまた見る事
が出来ません。故に今日は唯記憶に残つて居る事と感想の一端との外申上げられませ
ぬでした。恐らく間違つたことも澤山あつたらうと存じます。よろしく御示教の程
をお願い申上げます。(完)

昭和二年三月四日印刷
昭和二年三月七日發行

定價 金拾錢也

教化團體聯合會

東京市麴町區元衛町一
社會局内
電話牛込 五〇七八番
五〇七九番

發行人 佐野高藏

印刷人 杉田彌太郎

東京市麴町區八丁目一番地

印刷所 杉田屋印刷所

電話九段(33)一一〇二番

313

101

終

